


各教科等WGにおける 資質・能力の構造化等 に関する検討状況

目次

• 各教科等WGにおける資質・能力の 構造化等に関連する検討のポイント	P2~17
• 見方・考え方一覧（素案）	P18~21
• 高次の資質・能力一覧（素案）	P22~75
• 各教科等WGにおける議論の補足イメージ及び 教科の目標、見方・考え方、資質・能力の全体構造（素案）	P76~330
- 国語WG	P77~92
- 外国語WG	P93~105
- 社会・地歴史・公民WG	P106~182
- 算数・数学WG	P183~207
- 理科WG	P208~224
- 体育、保健体育、健康、安全WG	P225~235
- 芸術WG	P236~268
- 家庭WG	P269~279
- 生活、総合的な学習・探究の時間WG	P280~287
- 特別活動WG	P288~294
- 道徳WG	P295~296
- 情報・技術WG	P297~314
- 特別支援教育WG	P315~322
- 産業教育WG	P323~330

※本資料は、各WGにおける資質・能力の構造化に関する検討状況等について報告するものであり、幼児教育WG、不登校児童生徒に係る特別の教育課程WG、特定分野に特異な才能のある児童生徒に係る特別の教育課程WGについては、別途具体的な検討を進めている。



各教科等WGにおける資質・能力の 構造化等に関する検討のポイント



(国語WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 国語科は、思考力・判断力・表現力等の系統性が明確であり、知識及び技能が全体として思考力・判断力・表現力等の深まりを助けることを明確にするため、**「並行」パターンでの表形式化を検討**
- 短文でのやりとりが中心となるSNSなどに日常的に接する中で、まとまりのある思考を深めたり表現を工夫したりする経験が不足しており、**「目的や場面に応じて、自分の思いや考えに適した言葉を用いて表現することなどに課題」**。「何のために言葉を使うのか」という視点を明確にし、学習活動の目的を意識できるようにするため、**思考力・判断力・表現力等の内容については、従来の「話す・聞く／書く／読む」といった領域のみならず、「情報の伝達／他者の説得／情報の獲得・他者の主張の吟味／合意形成」といった「言葉を使う目的（仮称）」（※）を基に整理**して示す方向で検討

（※「言葉を使う目的（仮称）」の呼称や、具体的な分類の方法等は、引き続きWGにおいて検討予定。）

2. その他の重要論点について

- **学習の基盤となる資質・能力である「言語能力」の在り方**について、AIによる大量の言語生成が可能となり、それをSNS等で容易に発信可能な時代だからこそ、自らの意思や考えを形成・表現することや、他者の経験・感情を理解することといった**人間ならではの言語能力を重視する観点から再整理**。また教育課程全体を通じた言語能力育成の一層の推進のため、国語科と各教科等での言語能力育成の役割分担について整理
- 今後、WGにおいて、**高校国語科の科目の在り方について検討予定**（※選択科目の資質・能力の構造化の素案については、今後示す予定）



(外国語WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 英語科は知識及び技能よりも思考力・判断力・表現力等の系統性が明確であり、知識及び技能が全体として思考力・判断力・表現力等の深まりを助けることを明確にするため、「並行」パターンでの表形式化を検討
- 「外国語を使って何ができるようになるか」の段階的な高度化を「思考力・判断力・表現力等」の深まりとして示し、観点別評価も行いやすくするため、領域別目標の要素（聞くこと、読むこと、話すこと【やり取り】、話すこと【発表】、書くこと）を「思考力・判断力・表現力等」の内容に移行
- 高次の資質・能力のうち、「思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮」については、CEFRでの分類（Reception・Production・Interaction）も踏まえ、「理解する・表現する・伝え合う」に分けて記載

2. その他の重要論点について

- AI時代に外国語を必修とする「本質的意義」として、「言葉、文化、コミュニケーションへの深い理解を育むこと」と「自分の考えが磨かれて思考が深まる、人間関係が豊かになること」を柱に要素を整理（見方・考え方に反映）
- 高校の英語科目については、英語によるコミュニケーションを中核とする科目趣旨を端的に示すため、5領域を総合的に扱う「英語コミュニケーション」は「英語コミュニケーション（総合）」に、話すことや書くことを中心に扱う「論理・表現」は、発信力の一層の強化を図るため「英語コミュニケーション（発信）」に変更（これらを踏まえた内容構成の変更が生じるため、資質・能力の構造化の素案については英語コミュニケーション（総合）Ⅰ及び英語コミュニケーション（発信）Ⅰのみ示している。）
- コミュニケーションに必要な重要な語彙に繰り返し触れ、様々な文脈や場面で発信に活用できるようにするため、指導すべき語彙数の精選も含めて、基盤語彙リストを整備する方向で検討



（社会・地理歴史・公民WG）資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 民主的で持続可能な社会の創り手を育成する観点から、社会的事象に関する概念の理解、確かな情報に基づき適切かつ効果的に調べまとめる技能や、資料や概念に基づき自らの考えを批判的に捉え直す力を養うことなどを重視する方向で目標を改善。

（目標の見直しのポイント）

（知識及び技能）…社会的事象に関する概念の理解を重視。真偽が定かでない情報が行き交う中、情報の信ぴょう性の確認を重視。

・小中：「**確かな**」情報に基づく「適切かつ」効果的に調べまとめる技能の習得。

・高校：批判的に情報を扱う視点を重視し「**妥当性を吟味しながら**」調べまとめる技能の習得。

（思考力、判断力、表現力等）…より深い学びを具現化するため、自らの考えを批判的に捉え直す力の育成を追記。

（学びに向かう力、人間性等）…自らの学びを振り返りながら、主体的かつ協働的に問題解決しようとする態度を明記。

- 従来「**見方・考え方**」で学びの深まりの鍵として示していた「**位置や空間的な広がり、時期や時間の経過**」といった着目すべき視点や、「**比較・分類したり総合したり**」といった対象を分析する方法については、一層授業改善に活かす観点から、「**社会的な視点や方法等**」として「**総合的な発揮**」において示すこととした
- 社会科・地歴公民科については、知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を具体的に示すことが授業改善に繋がることから、「**並列パターン**」での構造化を検討

2. その他の重要論点について

- 今後「高次の資質・能力」と個別の内容の精査を往還する中で必要な内容の精選を進めつつ、グローバルな協調や競争に関する課題や自然災害、デジタル技術の発展、人口減少社会がもたらす社会構造の変化など複雑化・多様化が進展する社会の状況を踏まえた内容の在り方等についても検討

💡（算数・数学WG）資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 算数・数学の学習の本質を明確にしつつ、小・中・高を通じて一貫性・系統性を確保した指導を充実する観点から、小・中・高で教科の目標を統一しつつ、必履修部分に係る学習内容を共通する6つの「分野」で整理
- 世界トップレベルの数学的リテラシーを有しつつ、高校卒業後の進路に理工系が選択されにくい現状や、その一因として、数学と社会・職業との関係の理解が進んでいない状況。
- また、現代社会の重要なインフラとなりつつあるAI技術やデータサイエンス等の仕組みを理解し、適切に利活用できるようにする観点から、それらの基盤となる学習（行列、微分・積分、確率、統計）を充実する必要
- これらの観点から、以下の改善を検討
 - 中学校以降で、数学と社会・職業との関係や数学全体の見取り図を示すようなガイダンス的な学習を新設
 - 高等学校「数学Ⅰ」において、AI等の基盤となる内容を含め、高校卒業時に身に付けるべき数学的素養の基礎を学ぶ内容を新設
- 算数・数学科については、知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での構造化を検討

※ 学習内容の実質的増加につながらないよう、教科全体の学習内容について必要な精選を図ることを前提

2. その他の重要論点について

- 高等学校について、現行の「数学A」「数学B」「数学C」を、生徒が必要な学習内容を選択履修しやすく、各学校が柔軟にカリキュラムを編成・実施できるよう、ABCの区分けをなくして内容を選択できる一つの新科目として整理
- メディアリテラシーの観点も意識し、「事象や言説を数理の視点から捉え、論理的、統合的・発展的、批判的に考察すること」を新たな見方・考え方として検討



(理科WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 理科の学習の本質を明確にしつつ、小・中・高を通じて一貫性・系統性を確保した指導を充実する観点から、小・中・高で教科の目標を統一しつつ、学習内容を共通する4つの「分野」(物理・化学・生物・地学)で整理
- 「科学的な探究」の課程を教育課程全体で位置づけ、解説等も活用して具体的に示していくことで、理科の学習全体を通じて科学的な思考・方法を身につけるという趣旨を明確化
- エネルギー問題や環境問題など、特定の分野・領域に限定できない科学的な社会課題が増加していることを踏まえ、分野横断的な課題について学ぶ学習内容を、小学校にも新たに設定(理科と日常生活(仮称))

※ 学習内容の実質的増加につながらないよう、教科全体の学習内容について必要な精選を図る

- 理科については、知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での構造化を検討。

2. その他の重要論点について

- 学問分野にとらわれない科学的思考・方法の基本について学ぶ内容や、理科の学習と研究・社会とのつながりについて学ぶ内容が各学校段階で十分存在しないことへの対応について、今後検討

(具体例)

- 科学とは何か(仮説を不断に検証する営みであること等)
- 検証の方法(実験では条件制御が必要であること等)
- 研究倫理(捏造、改ざん、盗用は、なぜいけないのか等)
- 理科の学習内容と、研究・社会とのつながり
- メディアリテラシーの観点も意識し、「自然や社会の事象・言説を、自然科学的な視点から捉え、観察・実験の結果や科学的知見などに基づいて、客観的、論理的、批判的に考察すること」を新たな見方・考え方として検討



(体育・保健体育、健康、安全WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- スポーツ基本法改正の趣旨や複雑化・多様化する健康課題といった点も踏まえ、運動・スポーツの多様な楽しみ方や心身の健康の保持増進を通じて自他の人生を豊かにしていくという方向性を重視して検討
- 体育については、子供たちが内発的動機に基づいて運動に一層豊かに取り組むことができるようになることを目指し、小学校 4 年までは運動遊び等を通じて「運動の基礎を培う時期」、中学校 2 年までは多様な運動の経験を通じて「多くの領域の学習を経験する時期」、中学校 3 年生以降は自分で選んだ運動の学習を通じて「卒業後も運動やスポーツに多様な形で関わることをできるようにする時期」と 4 年ごとに捉え、内容の系統性を再整理
- 特に、これまで「学びに向かう力・人間性等」に位置づけていた体育における公正、協力、責任等の内容については、指導・評価の具体化を図るため「知識及び技能」に位置づけ直す等の整理
- 保健については、内容相互の関連性が明確となるよう系統性を再整理
- 体育及び保健については、知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を具体的に示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での構造化を検討



(芸術WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 芸術と豊かに関わることで全ての教科等に通底する「創造」の土壌となる資質・能力を育むという芸術の特性を重視。そのため、答えが一つに定まるものではなく児童生徒一人一人のありようを尊重するという考え方を前提に、表現したいことについて自分の思いや考えをもち、それをどのように形にできるか、他者に伝えることができるかという点や、芸術での学習を豊かな社会の創造や幸福な人生に活かしていく等の視点から教育課程の改善を検討
- そうした視点から、引き続き芸術活動の根幹となる「表現」及び「鑑賞」を各教科・科目共通の領域とした上で、芸術系各教科・科目の特性や専門性・系統性を踏まえて学習の区分を設定し、それをもとに高次の資質・能力を検討

(例) 中学校音楽：「歌唱」、「器楽」、「創作」 中学校美術：「自分と美術」、「身近な生活や社会と美術」 など

- 鑑賞に関する教育の充実を図るため、図画工作、美術、工芸、書道において、鑑賞の技能に関わる内容を新たに位置付けていく方向で検討

(例) 図画工作：「体全体の感覚を働かせ、方法を工夫して見る」、中学校美術：「造形的な情報を読み取る」、
高等学校書道：「作品や書から情報を読み取る」

- 芸術系各教科では個々の知識及び技能に対応して育成する思考力・判断力・表現力等を示すことは困難であり、また知識を基に思いや意図などをもち、身体を用いながら技能を働かせて表現や鑑賞を行うという往還を重視する芸術の学習過程の特質を踏まえ、知識及び技能が全体として思考力、判断力、表現力等の深まりを助ける構造を表現しやすい「並行」パターンでの構造化を検討



（家庭WG）資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 社会のDX化や生活環境の変化への対応と生活文化の継承等の必要性を両立しつつ、複雑化・多様化する社会や生活を多角的・総合的に捉え、主体的によりよい生活を創り出すために適切な判断をする力の育成を重視した教育課程の改善を検討
- こうした視点を踏まえ、「高次の資質・能力」については、知識及び技能を生活の中で生かす具体の姿や、思考力、判断力、表現力等が育成された児童生徒が実生活において、課題解決を通して自分の生活を実践する具体の姿を明記する方向で検討
- 家庭科全体の系統性を一層分かりやすく示す観点から、領域構成の見直しを検討

（現行）	A 家族・家庭生活	B 衣食住の生活	C 消費生活・環境	D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 ※高のみ	
（改善案）	A 家族・家庭生活	B 生活経営・消費生活	C 食生活	D 衣生活	E 住生活

- 高等学校については、自立した生活を営む主体として、よりよい生活を創り出すために必要な力を育む「家庭基礎」と、率先して家庭や地域の生活を支え向上させる主体として、よりよい生活を探究的に創り出すために必要な力を育む「家庭総合」というように、科目の役割を明確化。
- 家庭については、知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での構造化を検討



（生活科）資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- AI技術の進展により、情報の獲得や処理は容易かつ効率的になり、知識の量や正確さのみを求める学びの在り方は、その意義を相対的に低下させつつある中、身体を通して対象と直接関わる体験を通じて得た情報を自らの経験と結び付けて理解し意味付けていくことは、これまで以上に重要となっている
- こうしたAIによって代替することができない「実感を伴う知」を育み、「深い学び」を実装する人間的な学び方を体得する教科として、生活科の本質的意義を以下の4つで整理し、それらを踏まえて教育課程を改善する方向で検討
 - ① 身体性 — 身体で世界を捉える（実感）
 - ② 対象と自分との関わり — 身近な世界に働きかけ、気付く（好奇心・探究心）
 - ③ 他者と自分との関わり — 他者の思いや願いを尊重し、共に生活する（協働性・共感）
 - ④ 自己認識 — 自分という存在に気付く（主体性・自立性）
- 以上の意義を踏まえると、生活科の「内容」については、知識及び技能と思考力・判断力・表現力等を分節的に規定することで学習活動が個々の身体を通した具体的な活動から離れて設定されてしまうことを避ける必要があることから、生活科の構造化については、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」を一体として記載する方向で検討（資質・能力の3つの柱に分けて内容を示さない現行の方針を継続）



(総合WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 各学校において目標や内容を定めるという総合の特質を維持することとした上で、探究の幅の広がりや質の向上の方策を多角的に検討。
- 探究の「質」を課題の質、プロセスの質、成果の質の3つの視点で具体的に整理しつつ、それらを踏まえて探究の質を各学校段階で徐々に高めていくことができるよう目標を見直し
- 小学校総合については、企画特別部会の論点整理を踏まえ、「探究の領域」と「情報の領域」の2領域を設定。小学校総合の情報の領域についてのみ内容を具体的に定めることとし、企画特別部会の論点整理も踏まえ「①情報技術の活用」「②適切な取扱い」「③特性の理解」の3つの視点で内容及び高次の資質・能力を検討

2. その他の重要論点について

- 「情報の領域」については情報技術に関する基礎的な内容を学ぶ小さなまとまりである「情報ブロック」と、情報活用能力の諸要素を学びながら、探究のプロセスで活用する小単元である「ミニ探究ユニット」で構成し、これらが探究の領域を基盤として支えるとの考え方を整理
- 探究の「質」のうち、特に企画特別部会でも論点となった「課題設定の充実」については、体験や経験を通して生まれた興味・関心や問題意識を、探究の過程で課題として洗練していくこととしつつ、課題設定の質の向上に向けた具体的な方策を検討
- 探究テーマの偏りや、探究の態様によって想定されるプロセスが異なるといった実態が見られる中、標準的な探究のプロセスだけでは様々な探究を捉えられないといった指摘等を踏まえ、多様な探究の在り方について、「研究系」「行動系」「創作系」の要素のグラデーションから成る参考資料を示すことを検討



(特活WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 特別活動の意義・役割として「確かな民主主義の担い手の育成や共生社会の実現にむけた基盤」を提供する領域として、よりよい社会を主体的に形成しようとする力を育むことを明確にした上で、「学びに向かう力・人間性等」を実践的に育むことがとりわけ重視される特質を有すると整理
- 特別活動は「なすことによって学ぶ」ことを方法原理とし、資質・能力の3つの柱について「思考力・判断力・表現力等」を育む主体的・実践的な活動を通じて一体的に育てるという性質があることを踏まえ、内容は資質・能力を3つの柱に分けて記載するのではなく、思考・判断・表現の学習過程を中心に記載する形式として整理（資質・能力の3つの柱に分けて内容を示さない現行の方針を継続）

2. その他の重要論点について

- 「学びに向かう力・人間性等」がとりわけ重視される特質や、国が示す評価の在り方と現場の実態との間の乖離への指摘等を踏まえ、特別活動については資質・能力の三つの柱に分節した目標準拠評価は行わず、「思考・判断・表現」の過程で一体的に表出する「学びに向かう力・人間性等」について個人内評価を行うこととし、教師による評価としては、適時の声掛け・指導・支援等の形成的評価や、振り返りを通じての自己評価や相互評価を重視するなど、特別活動の特質を踏まえ、資質・能力の育成に一層繋がる評価の在り方についても検討



(道徳WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 道徳科の目標について、人格そのものに働き掛け、道徳性を養うことを目的とする道徳教育の特質を踏まえ、引き続き、道徳科で育む資質・能力について、観点別の目標は定めないことと整理
- 道徳科の見方・考え方については、示すべき要素（教科等を学ぶ本質的な意義の中核）が目標に含まれていることから、引き続き、目標とは別に見方・考え方を示すことはしない方向で検討
- 高次の資質・能力については、道徳科の特質から「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」の深まりを観点別に可視化することに馴染まないことや、道徳科の内容項目は、児童生徒自らが道徳性を養うための手掛かりとなるものであり、育成すべき資質・能力を直接的に記載したものではないことを踏まえ、道徳科において高次の資質・能力は定めない方向で整理
- 内容の表形式化については、内容の全体構成を構造的に把握し易くする観点からの表形式化について検討

2. その他の重要論点について

- 今次改訂では、「『考え、議論する道徳』への転換」のフェーズから、「『考え、議論する道徳』の実装」のフェーズに移行することを検討の方向性とし、「読み物教材の登場人物の心情理解に偏った授業になりがち」「教科書の発問例に頼った授業など、型にはまった予定調和的な授業になりがち」といった課題を踏まえた学びの在り方について検討



(情報・技術WG) 資質・能力の構造化等に関する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

(共通的なポイント)

- AI・ロボット等の活用を担う専門的・技術的人材の将来的な不足への対応や、地方経済の維持・担い手不足の解消に向けたアドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成等の必要性から、すべての子供たちの情報活用能力の抜本的向上を図ることが、我が国の持続的成長を支えるために極めて重要という認識を確認
- 一方、生成AI等による偽・誤情報の拡散やフィルターバブル等のデジタルの特性が社会の分断を誘引・拡大し、民主主義を危険にさらすおそれもある現状を踏まえたデジタル時代の民主主義を担う力も必要
- これらの視点から、情報技術や生産技術の正負の側面に配慮しつつ、技術を使いこなして生活や社会をよりよくすることを重視した教育課程の実現に向けて検討（生活・総合WGと連携し、小学校総合の「情報の領域」との連続性も確保）
- 情報・技術科、情報科については知識及び技能の系統性が明確であり、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での構造化を検討

(中学校 情報・技術科（仮称）)

- 小学校「情報の領域」を基礎とし、新教科「情報・技術科」には①情報技術に関連する内容を充実し情報活用能力の抜本的向上を図る ②情報技術も活用しつつ技術でものを生み出し生活や社会の問題を発見・解決する素養を身に付けるという二つの役割が求められることを踏まえ、「情報技術（仮称）」と「情報を基盤とした生産技術（仮称）」の2領域で内容を構造的に整理

(高等学校 情報科)

- 小学校・中学校における教育の充実を踏まえ、AIやデータの扱い等をはじめとした学習内容の充実を図るなど、高等教育の数理・データサイエンス・AI教育等との円滑な接続などを踏まえた内容項目の再整理を検討
- 情報Ⅱについては、各学校のニーズに応じてAI・データ等の内容の一層の充実や、実社会の課題を探究的に解決する内容を充実させられるよう、一定の幅の範囲内で単位数を配当できるよう検討

2. その他の重要論点について

- 学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力の体系性については、企画特別部会の論点整理を踏まえて「①活用」「②適切な取り扱い」「③特性の理解」の3つを基に資質・能力の全体像を整理



(特別支援教育WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 特別支援学校においては、知的障害の教科と高等部の専門教科について独自の内容を定めており、また各教科等のうち知的障害の小学部「生活」及び中学・高等部「職業」以外は、障害の特性等を踏まえつつ小学校学習指導要領や高等学校の産業教育の方向性を踏まえて検討することとしていることから、現時点では、特別支援教育WGでは「生活」及び「職業」についてのみ構造化の方向性を検討
- 小学部「生活」については、具体的な活動や体験を通して、自ら考え判断し表現等をしていく中で、知識や技能を身に付けていくことを重視していることを踏まえ、「知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」をまとめて示すオリジナルの形式で示す方向で検討
- 中学部「職業」と高等部「職業」については、内容の系統性や情報活用能力育成の抜本的向上も踏まえ、「A 職業生活」「B 情報機器・情報技術の活用（仮称）」「C 産業現場等における実習」の3つの領域で示す方向で検討。その上で、個々の知識及び技能と一体的に育成する思考力・判断力・表現力等を示すことが授業改善に繋がることから、「並列パターン」での6年間を通した構造化を検討
※中学部の「職業・家庭」については、中学校での対応を踏まえ「職業」と「家庭」に分離する方向で検討
- 自立活動については、各教科の資質・能力の育成を支えるという特質を踏まえ、教科等のように目標・内容を資質・能力の柱で示しておらず、選択可能な項目で内容を示しており、高次の資質・能力をもとに構造化して示すことは馴染みにくいが、教師にとって分かりやすくなるよう内容を表形式で示すことを検討

2. その他の重要論点について

- 小・中・高等学校における障害のある子供たちに対する「重層的な指導・支援」の考え方に基づく支援の実施や、各学校段階の総則において過重な負担のない範囲内で合理的配慮の提供を促す関係規定を設けることなどを検討
- 通級による指導において、自立活動を取り入れること、困難さの状態に応じて特に必要な場合は、各教科の指導を行うことを可能とすることや、各教科の目標・内容の一部を障害の状態等を考慮したものに替えることを可能とすることを検討
- 高等学校において、将来的な制度的対応も見据えた研究開発的な視点から、障害の状態等に応じた教育課程の編成・実施を必要に応じて可能とする新たな特例校制度を検討



(産業教育WG) 資質・能力の構造化等に関連する検討のポイント

1. 目標・内容の構造化等のポイントについて

- 市場環境が絶えず急激に変化する時代にあって、職業人として多様な課題に対応できる探究的・実践的な力を育成するための学びの積み重ねをできるようにしていくため、「指導項目」ベースで示されている現行学習指導要領を抜本的に見直し、「何ができるようになるか」の視点から資質・能力ベースに改める方向で検討
- 工業、農業といった各専門教科について、学びの深まりを意識した教育課程の編成が可能となるよう、各科目の整理（学ぶ内容の統合や精選、移管）を行いつつ、教科の各領域・分野における学びの体系を整理する方向で検討
- 全ての教科において、AIやデータサイエンスに関する内容、経営管理やマネジメントに関する内容を充実しつつ、探究的・実践的な学びの深まりを充実させる観点から、従来「課題研究」に設けていた履修学年の規定を削除。その際、探究的な学びは自己の在り方生き方に関わる課題を自ら発見し、解決していくことが重要であることに鑑み、課題研究の導入段階で実社会・実生活に関わる課題を探究する活動を取り入れる方向で検討

2. その他の重要論点について

- 総合的な探究の時間を「課題研究」で代替する場合、「課題研究」を専門高校におけるカリキュラム・マネジメントの中核の科目とすることを明示し、その際、共通教科も含めた各教科等で身に付けた資質・能力を活かしながら活動に取り組むこととして整理

見方・考え方一覧（素案）

※各ワーキンググループにおいて検討中のたたき台であり、
今後変更の可能性がありうる

見方・考え方一覧（素案）（１／３）

見方・考え方

国語		<ul style="list-style-type: none"> 自分や他者の言葉を、その意味や使い方、表現の意図等に着目して多面的・多角的に吟味し、多様な立場や考えを理解しながら、丁寧に言葉を紡ぎ、よりよく伝え合うこと
外国語活動・外国語		<ul style="list-style-type: none"> 外国語及び外国語によるコミュニケーションを文化の違いや社会及び相手との関わりに着目して捉え、他者の考えを受け止めるとともに、表現等を工夫して自分の考え等を発信し、多様な他者との相互理解を図ること
社会（小学校）		<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
社会（中学校）	地理	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象やその言説を、地域の空間的な広がり、地域の環境、地域間の関係などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
地理歴史（高等学校）	地理総合・地理探究	
社会（中学校）	歴史	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象やその言説を、時系列、推移、類似や差異、因果関係や現在とのつながりなどに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
地理歴史（高等学校）	歴史総合・日本史探究・世界史探究	
社会（中学校）	公民	<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象やその言説を、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
公民（高等学校）		<ul style="list-style-type: none"> 社会的事象やその言説を、倫理、政治、法、経済などに関わる概念や理論などに着目して捉え、人間としての在り方生き方についての自覚を深めることや、よりよい社会の形成に向けて課題を多面的・多角的に考え、根拠に基づき公正に判断すること
算数・数学		<ul style="list-style-type: none"> 事象や言説を数理の視点から捉え、論理的、統合的・発展的、批判的に考察すること
理科		<ul style="list-style-type: none"> 自然や社会の事象・言説を、自然科学的な視点から捉え、観察・実験の結果や科学的知見などに基づいて、客観的、論理的、批判的に考察すること
体育・保健体育	体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動やスポーツを、心身の充実に果たす役割や多様な楽しみ方の視点から捉え、自他の豊かな生活及び活力あふれる社会づくりにつなげること
	保健	<ul style="list-style-type: none"> 保健に関する課題や情報を、健康や安全に関する概念やそれに関わる原則に着目して捉え、リスクの軽減や生活の質の向上、及び健康・安全を支える環境づくりにつなげること

※総則・評価部会で示した見方・考え方の記載例

●●（当該教科で扱う事象や対象）を●●（当該教科固有の物事を捉える視点）の視点から捉え、●●（当該教科固有の考え方や判断の仕方）すること。

見方・考え方一覧（素案）（2/3）

見方・考え方

音楽（小学校、中学校）	音楽	<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、音や音楽、文化などの視点で捉え、意味や価値を見いだすこと
芸術（高等学校）		
図画工作（小学校）	美術・ 工芸	<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、造形的、文化的な視点で捉え、意味や価値をつくりだすこと
美術（中学校）		
芸術（高等学校）	書道	<ul style="list-style-type: none"> 感性や想像力を働かせ、対象や事象を、美を構成する要素とその働き、文化などの視点で捉え、芸術の意味や価値を追求すること
芸術（高等学校）		
家庭	生活	<ul style="list-style-type: none"> 自分や家族の生活の営みを、地域や社会との関わりの中で持続的なものとする視点から総合的・多角的に捉え、主体的によりよい生活を創り出すこと
生活		
情報・技術	情報（高等学校）	<ul style="list-style-type: none"> 生活や社会における問題を、技術的視点から正負の両面を含め多角的に捉え、包摂的で豊かな生活や社会の実現に向けて、情報技術及び生産技術を適切に活用したり、創造したりすること
情報（高等学校）		
総合的な学習・探究の時間	特別活動	<ul style="list-style-type: none"> 実社会・実生活との関わりの中で見いだす興味・関心や問題意識に基づく課題を、横断的・総合的な視点から捉え、新たな価値を創造し、自分らしい生き方を問い続けること
特別活動		

見方・考え方一覧（素案）（3 / 3）

見方・考え方

知的障害特別支援学校 生活	<ul style="list-style-type: none"> 社会及び自然などの対象を自分との関わりの視点から捉え、自分自身や自分の生活について考えること
知的障害特別支援学校 職業	<ul style="list-style-type: none"> 職業に係る事象を、職業分野で取り扱う内容と将来の生活や生き方をつなげて考え、よりよい職業生活や社会生活を営むための工夫を行うこと

産業教育	職業に関する教科	<ul style="list-style-type: none"> 社会や産業に関する事象を、職業に関する各教科の本質に根差した視点で捉え、職業人としての自己の成長と、社会や産業の発展につなげること
	農業	<ul style="list-style-type: none"> 農業や農業関連産業に関する事象を、生産・環境・資源の統合的な視点で捉え、職業人としての自己の成長と、農業や農業関連産業の持続的な発展につなげること
	工業	<ul style="list-style-type: none"> 工業に関する事象を、よりよいものづくりを創出する視点で捉え、職業人としての自己の成長と、社会の発展につなげること
	商業	<ul style="list-style-type: none"> 企業活動に関する事象を、利益の追求と社会的責任の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、ビジネスの持続的な発展につなげること
	水産	<ul style="list-style-type: none"> 水産や海洋に関する事象を、海洋資源を持続的に利用する視点で捉え、職業人としての自己の成長と、水産業及び海洋関連産業の持続的な発展につなげること
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> 生活産業に関する事象を、生活の質の向上の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、生活産業の発展につなげること
	看護	<ul style="list-style-type: none"> 健康に関する事象を、当事者の考えや健康レベルの視点で捉え、職業人としての自己の成長と、より健康的な生活の実現や保健医療の発展につなげること
	情報	<ul style="list-style-type: none"> 情報に関する事象を、課題解決や価値創造の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、情報及び情報技術を活用したよりよい社会の実現につなげること
	福祉	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活に関する事象を、人間の尊厳と自立の視点で捉え、職業人としての自己の成長と、地域共生社会の推進につなげること

高次の資質・能力一覧（素案）

※各ワーキンググループにおいて検討中のたたき台であり、
今後変更の可能性がありうる

※以下、「知識及び技能に関する統合的な理解」を「統合的な理解」、「思考力、判断力、表現力等の総合的な発揮」を「総合的な発揮」と記載する

高次の資質・能力

				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
小学校	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮		目的などに応じて、日常生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して話すとともに、相手の話を聞いたり話し合ったりして考えを広げ深めることができる。	目的などに応じて、日常生活に関わる課題や出来事、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して文章を書くことができる。	目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、日常生活に関わる課題や出来事、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。
	知識及び技能	統合的な理解	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	日常生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	日常生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。 (同左)	日常生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。 (同左)
			②各領域の学習を支える文化的な知識や態度、教養として深める側面	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値に気付くことが、自己の形成、日常生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。		

高次の資質・能力

			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
中学校	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	目的などに応じて、社会生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して話すとともに、相手の話を聞いたり話し合ったりして考えを広げ深めることができる。	目的などに応じて、社会生活に関わる課題や出来事、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に伝えるように工夫して文章を書くことができる。	目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、社会生活に関わる課題や出来事、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。
	知識及び技能	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。 (同左)	社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。 (同左)
		②各領域の学習を支え文化的な知識や態度、教養として深める側面	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を捉えることが、自己の形成、社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。		

高次の資質・能力

				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
高等学校 (現代の国語)	思考力、判断力、 表現力等	総合的な発揮		目的などに応じて、生涯にわたる社会生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に的確に伝わるように効果的に話すとともに、相手の話を聞いたり話し合ったりして考えを広げ深めることができる。	目的などに応じて、生涯にわたる社会生活に関わる課題や出来事などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に的確に伝わるように効果的に表現した文章を書くことができる。	目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、生涯にわたる社会生活に関わる課題や出来事などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。
	知識及び技能	統合的な理解	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。(同左)	生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。(同左)
			②各領域の学習を支える文化的な知識や態度、教養として深める側面	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。		
高等学校 (言語文化)	思考力、判断力、 表現力等	総合的な発揮		—	目的などに応じて、自分の経験などについて、自分の考えや感じたことなどを相手に的確に伝わるように効果的に表現した文章を書くことができる。	目的などに応じて文章を読んで内容を理解し、自分の経験などと結び付けながら考えを広げ深めることができる。
	知識及び技能	統合的な理解	①各領域の学習の過程で生かし深める側面	—	生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。	生涯にわたる社会生活に必要な言葉の様々な意味や働き、使い方等を身に付け、目的などに応じて使うことにより、理解や思考、表現の質が高まることを理解している。
			②各領域の学習を支える文化的な知識や態度、教養として深める側面	—	幅広く多様な言葉に触れ蓄えながら言語文化のもつ意義や価値を深く捉えることが、自己の形成、生涯にわたる社会生活の向上、文化の創造と継承につながることを理解している。	

高次の資質・能力

小学校	外国語活動	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	ごく身近な話題について、 ・ 情報などを聞き、内容を推測することに慣れ親しむことができる。【理解する】 ・ 相手を意識しながら、自分の考えや気持ちなどを話して伝えることに慣れ親しむことができる。【表現する】 ・ 相手を意識しながら、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことに慣れ親しむことができ、相手を理解しようとする。【伝え合う】
		知識及び技能	統合的な理解	音声や基本的な表現に慣れ親しむことで、日本語と外国語の音声の違い等に気付くとともに、言語や文化の違いや共通点を体験的に理解している。
	外国語	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近な事柄について、 ・ 聞いて情報を捉え、考えを形成するとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現の意味を考えながら読むことができる。【理解する】 ・ 自分の考えや気持ちなどを整理し、語句や表現を選んで相手に話して伝えるとともに、音声で十分に慣れ親しんだ語句や表現を用いて、書いて伝えることができる。【表現する】 ・ 相手が話した内容を踏まえ、自分の考えや気持ちなどを、語句や表現を選んで伝え合うことができ、相互理解を図ることができる。【伝え合う】
		知識及び技能	統合的な理解	音声、語彙、表現及び文構造並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせて使うことにより、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。
中学校		思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、様々な話題について、 ・ 聞いたり読んだりして必要な情報や考えなどを捉え、整理したり、既存の知識や経験と関連付けたり比較したりして、考えを形成することができる。【理解する】 ・ 情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、表現等を工夫して他者に伝えることができる。【表現する】 ・ 相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、気持ちなどを、相手に分かりやすいように表現等を工夫して伝え合うことができ、相互理解を深めることができる。【伝え合う】
		知識及び技能	統合的な理解	音声、語彙、表現、文構造及び文法並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせて使うことにより、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。
高等学校	英C総合I	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、幅広い話題について、 ・ 聞いたり読んだりして、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に捉え、整理したり、既存の知識や経験と関連付けたり比較したりして、考えを形成してまとめることができる。【理解する】 ・ 情報や自分の考え、気持ちなどを整理し、論理性に注意しながら表現等を工夫して他者に適切に伝えることができる。【表現する】 ・ 相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、気持ちなどを、相手に分かりやすいように論理性に注意しながら表現等を工夫して適切に伝え合うことができ、相互理解を深めることができる。【伝え合う】
		知識及び技能	統合的な理解	音声、語彙、表現及び文法並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせて使うことにより、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。
	英C発信I	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、幅広い話題について、 ・ 情報や自分の考え、意見や主張などを整理し、論理の構成・展開及び表現等を工夫して他者に適切に伝えることができる。【表現する】 ・ 相手が話したり書いたりした内容を受け止めながら、情報や自分の考え、意見や主張などを、相手に分かりやすいように論理の構成・展開及び表現等を工夫して適切に伝え合うことができ、相互理解を深められる。【伝え合う】
		知識及び技能	統合的な理解	音声、語彙、表現、文法及び論理の構成・展開並びに【P】言語の働きなどの知識を、場面や状況に応じて組み合わせて使うことにより、英語による理解や表現の質を高めることを理解している。

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
第3学年	(1) 身近な地域や市区町村の様子	白地図や年表、文などにまとめて、身近な地域や市区町村は、地形や交通、公共施設など様々な場所による違いがあること、時間の経過とともに移り変わってきたことなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、市区町村の地理的環境や移り変わり、人々の生活の変化について考えたり、これからの市の発展を考えたりして、表現することができる。
	(2) 地域に見られる生産や販売の仕事	白地図や文などにまとめて、地域に見られる生産や販売の仕事は、地域の人々の生活と密接な関わりをもって行われていることや消費者の多様な願いを踏まえ売り上げを高めようと工夫して行われていることを理解する。	位置や空間的な広がり、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、生産や販売の仕事について多角的に考え、表現することができる。
	(3) 地域の安全を守る働き	文や図などにまとめて、地域の安全を守る働きは、関係機関が相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解する。	人々の相互関係などの視点に着目して、地域の安全を守る活動の様子について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
小学校 第4学年	(1) 都道府県の様子	白地図や文などにまとめて、自分たちの都道府県は、地形や産業など特色があることや人々が協力して特色あるまちづくりや観光などの産業の発展に努めている地域があることなどを基に成り立っていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、県の地理的環境の特色や県内の地域の特色を考えて、表現することができる。
	(2) 人々の健康や生活環境を支える事業	文や図などにまとめて、人々の健康や生活環境を支える事業は、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っており、地域の人々の生活を支えていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、人々の健康や生活環境を支える事業について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
	(3) 自然災害から人々を守る活動	文や図などにまとめて、自然災害から人々を守る活動は、これまで関係機関や地域の人々が連携して対処してきたり、今後の災害に対して様々な備えをして、人々を自然災害から守っていることを理解する。	時期や時間の経過、人々の相互関係などの視点に着目して、自然災害から人々を守る活動の働きを多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
	(4) 県内の伝統や文化、先人の働き	年表や文などにまとめて、県内の伝統や文化は、地域の人々が受け継いできたことや、地域の発展など人々の様々な願いが込められていること、先人の働きは、地域の人々の生活の向上に貢献したことを理解する。	位置や空間的な広がり事象や人々の相互関係などの視点に着目して、人々の願いや努力を考えたり、地域の人々の生活の向上に貢献した先人の働きについて考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
小学校 第5学年	(1) 我が国の国土の様子と国民生活	文や図などにまとめて、我が国の国土やその領域では、その自然条件と人々の生活や産業、国土の環境保全が関連して行われていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、自然条件と国民生活の関連や国土の環境保全について多角的に考えたり、社会への関わり方を選択・判断したりして、表現することができる。
	(2) 我が国の農業や水産業における食料生産	文や図などにまとめて、我が国の食料生産は、国土の自然条件を生かして営まれていることや、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、食料生産が国民生活に果たす役割を考えたり、これからの農業などの発展について多角的に考えたりして、表現することができる。
	(3) 我が国の工業生産	文や図などにまとめて、我が国の工業生産は、消費者の需要や社会に対応して行われていることや、国民生活の向上に重要な役割を果たしていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、工業生産が国民生活に果たす役割を考えたり、これからの工業の発展について多角的に考えたりして、表現することができる。
	(4) 我が国の産業と情報との関わり	文や図などにまとめて、情報を活用して発展する産業は、国民生活に大きな影響を及ぼしていることや国民生活を向上させていることを理解する。	時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、情報の活用や、情報化の進展に伴う産業の発展や国民生活の向上について多角的に考えたりして、表現することができる。
小学校 第6学年	(1) 我が国の政治の働き	文や図などにまとめて、我が国の政治は、日本国憲法の基本的な考え方に基づいて行われていることや、国民民主権の考え方の下、国民生活の安定と向上を図っていることを理解する。	事象や人々の相互関係などの視点に着目して、我が国の政治の働きについて、様々な面から考えたり、国民としての政治への関わり方について多角的に考えたりして、表現することができる。
	(2) 我が国の歴史上の主な事象	文や図などにまとめて、我が国の歴史上の主な事象を手掛かりに、我が国は長い歴史をもち伝統や文化を育んできたことを理解するとともに、関連する先人の業績、優れた文化遺産を理解する。	時期や時間の経過などの視点に着目して、先人の業績を政治や経済、世界との関わりなどの様々な面から、我が国の歴史の展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することができる。
	(3) グローバル化する世界と日本の役割	文や図などにまとめて、我が国は、他国と交流し、異なる文化や習慣を尊重し合うことが大切であること、平和な世界の実現のために国際連合の一員として重要な役割を果たしたり、諸外国の発展のために援助や協力を行ったりしていることを理解する。	位置や空間的な広がり、時期や時間の経過、事象や人々の相互関係などの視点に着目して、国際交流の果たす役割や国際社会において我が国が果たしている役割を考えたり、世界の人々と共に生きていくために大切なことや、我が国が国際社会において果たすべき様々な役割などを多角的に考えたり選択・判断したりして、表現することができる。

高次の資質・能力

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
			統合的な理解	総合的な発揮	
中学校	社会（地理的分野）	A 世界と日本の地域構成	(1) 地域構成	緯度や経度，世界の大陸分布や日本の領域などを対象として，世界と日本の様々な地域を学習するための大まかな地域構成の特色を理解する。	位置や分布などに関わる視点に着目して，世界と日本の空間的な広がりについて，世界や日本の諸事象や様々な地域の特色を学ぶ座標軸である地域構成を大観して，多面的・多角的に考察し，表現することができる。
		B 世界の様々な地域	(1) 世界の各地の人々の生活と環境	世界の多様な地域を対象として，世界各地の人々の生活が，自然的及び社会的条件から影響を受けたり，条件に影響を与えたりしながら多様性が生じることを理解する。	人間生活と自然環境との関係や変容などに関わる視点に着目して，世界の多様な地域における人々の生活について，その特色や変容の理由を，自然的及び社会的な影響から多面的・多角的に考察し，表現することができる。
	(2) 世界の諸地域		世界の各州を対象として，地域内で見られる地球的課題と関連付けながら地域的特色を理解する。	地域間の結び付きやスケール，変容などに関わる視点に着目して，世界の各地域で見られる地球的課題の要因や影響を多面的・多角的に考察したり，地球的課題をその地域的特色や変容の過程と関連付けて多面的・多角的に考察し，表現することができる。	
	C 日本の様々な地域	(1) 地域調査の手法	学校周辺の地域を対象として地形図や主題図の読み取りや作成の技能を活用しながら，地域の特色を明らかにするために地域調査の手法を理解する。	人間生活と自然環境との関係などに関わる視点に着目して，学校周辺の地域について主題を設定し，文献や調査から地理的な事象を見出し，事象同士を関連付けて追究してまとめることを通して，地域調査の手法やその結果を多面的・多角的に考察し，表現することができる。	
		(2) 日本の地域的特色と地域区分	日本を複数の項目について区分することで，区分された特色ある地域から日本が構成されていることや，日本全体の地域的特色を理解する。	位置や分布，人間と自然環境との関係，スケールなどに関わる視点に着目して，複数の項目について日本を地域区分し，区分された地域の共通点や差異，分布から，日本の地域的特色を多面的・多角的に考察し，表現することができる。	
		(3) 日本の諸地域	幾つかに区分した日本の諸地域を対象として，日本の諸地域の地域的特色や課題を理解する。	地域間の結び付きやスケール，変容などの視点に着目して，日本の諸地域における地域の特徴を，適切な事象を取り上げ，他の事象や課題と有機的に関連付けて，多面的・多角的に考察し，表現することができる。	
		(4) 地域の在り方	分野のまとめとして，適切な地域や課題を取り上げ，持続可能な社会づくりの視点から，課題解決に向けて考察，構想したことを適切に表現する手法を理解する。	地域的な課題解決の取組に関する理解を基に，地域間の結び付きやスケール，変容などの視点に着目して，地域で見られる地理的な課題について，持続可能な社会づくりの視野から，類似の課題が見られる他の地域と比較したり，関連付けたりするなどして，多面的・多角的に考察，構想し，表現することができる。	

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	統合的な発揮
社会 （歴史的分野） 中学校	A 歴史 との対話	(1) 歴史との対話		過去からの経緯を理解するための情報を獲得する方法や、時間軸で整理する技能を用いて、小学校の学習で扱った人物や出来事が、過去の資料に基づいて記述されていることや、現在の身近な地域の景観や特徴が、歴史的な経緯によって形成されていることを理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、歴史と私たちとのつながりなどの視点に着目して、小学校での学習で獲得した知識を時間軸で整理したり、地域などの空間を設定し、根拠を踏まえて現在の景観や特徴につながる過去の事象との関わりや、時代区分との関わりについて整理して考察し、表現することができる。
		(1) 古代までの日本		列島周辺地域との関係を背景に、日本列島に国家が形成され、アジア諸地域との関係をもちながら、吸収・再構成しながら政治のしくみが整えられたり、特徴的な文化が育まれたことについて理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、古代の日本について多面的・多角的に考察し、国家・社会の形成などについて時代の特色を大観して表現することができる。
	B 近世 までの日本とアジア	(2) 中世の日本		列島周辺地域との関係やユーラシアの状況を背景に、武家政治が公家や宗教を含めた多様な勢力の中で展開したことや、その中で民衆の成長により形成された社会や多様な文化について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、中世の日本について多面的・多角的に考察し、古代との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。
		(3) 近世の日本		ヨーロッパの諸勢力との接触や列島周辺地域との関係を背景に、統一政権の形成や、その諸政策によって生み出された安定的なつながりが経済活動や文化の発達を促したことや、その後の国内外の情勢の変化への対応について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などの視点に着目して、近世の日本について多面的・多角的に考察し、中世との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。
		(1) 近代(前半)の日本と世界		欧米諸国の動向や近隣の諸地域との関係を背景に、社会や対外的な状況の変化への対応が求められ、新たな制度や文化の導入とそれまでの社会とのつながりの中で、日本の近代国家のしくみや近代的な社会や文化が形成されたことを理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目して、近代前半の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して表現することができる。
	C 近現代の 日本と世界	(2) 近代(後半)の日本と世界		国際社会の動向や近隣の諸地域との関係を背景に、国際情勢の推移とその対応が政治や社会の変化を促したことや、戦争による惨禍が繰り返された経緯から国際協調の意義について理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目して、近代後半の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して現代の諸課題の解決に向けた手掛かりについて構想し、表現することができる。
		(3) 現代の日本と世界		世界の動向を背景に、冷戦下の日本の政治や経済の動きと社会の形成、冷戦後の国際社会との関係について理解するとともに、それらと現在の社会とのつながりについて理解する。	時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながり、歴史と私たちとのつながりなどの視点に着目して、第二次世界大戦後の日本について多面的・多角的に考察し、それ以前との比較などから時代の特色を大観して現在と未来の日本や世界の在り方について構想し、表現することができる。

高次の資質・能力

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
			統合的な理解	総合的な発揮
社会 （公民的分野） 中学校	A 私たちと現代社会	（１）私たちが生きる現代社会と文化の特色	位置や空間的広がり，持続可能性，推移や変化などの視点に基づき，現代日本の社会を特色付ける課題について，グローバル化や文化の意義及び影響と関連付けて理解する。	位置や空間的広がり，持続可能性，推移や変化などの視点に着目して，現代社会に見られる課題が将来の政治，経済，文化，国際関係に与える影響について，具体的な事例を挙げて，考察し，表現する。
		（２）現代社会を捉える枠組み	個人の尊厳と両性の本質的平等を基礎とする現代社会を捉える基礎となる枠組みとして，対立と合意，効率と公正などを理解した上で，合意を定めるきまり・契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任を理解する。	対立と合意，効率と公正などの現代社会を捉える基礎となる枠組みに着目して，望ましい合意の在り方や合意を実現するために必要な事柄などについて，具体的な事例を挙げて，考察し，表現する。
	B 私たちの都経済	（１）市場の働きと経済	分業と交換などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき，経済に関する仕組みと身近な経済活動に見られる諸事象を結び付けた，経済活動の意義について理解した上で，それと関連付けて，市場の働きと経済を理解する。	対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性，誠実性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，より活発な経済活動と個人の尊重を両立させることが重要であることを踏まえた，豊かな経済活動の実現とその方法について，具体的な事例を挙げて，考察し，表現する。
		（２）国民の生活と政府の役割	分業と交換などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき，国や地方公共団体の財政に関する仕組みとそれらの意義などについて理解した上で，それと関連付けて，すべての経済主体が連携・協働を図ることの意味を理解する。	対立と合意，効率と公正，分業と交換，希少性，誠実性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，すべての経済主体が連携・協働を図ることが効果的であることを踏まえた，現代社会に見られる課題の解決とその方法について，具体的な事例を挙げて，考察，構想し，表現する。
	C 私たちと政治	（１）人間の尊重と日本国憲法の基本的原則	個人の尊重などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき，個人が尊重され協働の利益が確保される国家・社会を形成するために憲法が果たす意義について理解した上で，それと関連付けて，日本国憲法の基本原理を理解する。	対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，現代社会の課題を解決するために，憲法に基づいて政治が行われることや日本国憲法の基本原理が果たす意義について，具体的な事例を挙げて，考察し，表現する。
		（２）民主政治と政治参加	個人の尊重などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき，国民の政治参加の意義について理解した上で，それと関連付けて，地方自治や我が国の民主政治の考え方を理解する。	対立と合意，効率と公正，個人の尊重と法の支配，民主主義などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，社会に参画する主体として，地方自治や我が国の民主政治の発展に寄与しようとする自覚などを育成することに向けて，政治参加に関する具体的な課題を挙げて，望ましい政治参加の在り方について考察，構想し，表現する。
	D 私たちと国際社会の諸課題	（１）世界平和と人類の福祉の増大	持続可能性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに基づき，国際社会に関する基本的な事項，国際社会の現状などについて理解した上で，それと関連付けて，世界平和の実現と人類の福祉の増大に向けて，地球規模の諸課題の解決のために国際協調や協力などが大切であることを個人と社会の関わりを中心に理解を深める。	対立と合意，効率と公正，協調，持続可能性などの現代社会を捉える概念的な枠組みに着目して，主体的に社会に関わることにに向けて，世界平和のために私たちにできることについて，考察，構想したことを説明したり，それらをもとに議論したりする。
		（２）よりよい社会を目指して		社会的な視点や方法等を用いて，現代の社会的な事象から課題を見いだし，社会参画を視野に入れながら，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，考察，構想し，自分の考えを説明，論述することを通して，私たちがよりよい社会を築いていくために考え続けていく新たな問いを見いだす。

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	地理総合	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界	(1) 地図や地理情報システムと現代世界	様々な目的や場面で役立つ地図や地理情報システム（GIS）を活用して、現代世界の地域構成の特色や国内や国家間の結び付きを理解する。	位置や分布などに関わる視点に着目して、地図や地理情報システム（GIS）などに関わる地理的技能を活用して、現代世界の地域構成や地図やGISの役割や活用の仕方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		B 国際理解と国際協力	(1) 生活文化の多様性と国際理解	世界の多様な生活文化を対象として、世界の人々の生活文化が、自然及び社会的環境から影響を受けたり、環境に影響を与えたりしながら多様性が生じたり変容したりするかを理解するとともに、グローバル化の進展による自他の文化の尊重と国際理解の重要性を理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付き、変容などに関わる視点に着目して、世界各地における人々の衣食住を中心とする生活文化や、慣習や規範、宗教などの生活様式について、自然及び社会的環境の影響による多様性と変容を、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
			(2) 地球的課題と国際協力	世界各地でみられる様々な地球的課題を対象として、現状や要因、解決の方向性や、課題相互の関連性を捉え、持続可能な社会の実現に向けた各国の取組や、国際協力の必要性を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、世界各地で見られる様々な地球的課題について、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現することができる。
		C 持続可能な地域づくりと私たち	(1) 自然環境と防災	地形図やハザードマップなどを活用して、自然環境の特色と自然災害の関係性、地域性を踏まえた災害の備えや対応について理解するとともに、防災の重要性について理解する。	人間生活と自然環境との関係や変容などに関わる視点に着目して、ハザードマップなどに関わる地理的技能を活用し、自然及び社会条件との関わりなど地域性を踏まえた防災について、多面的・多角的に考察し、表現することができる。
			(2) 生活圏の調査と地域の展望	科目のまとめとして、持続可能な地域づくりを目指した生活圏の調査を踏まえ、地理的な課題の解決に向けた様々な立場からの取組や探究する手法を理解する。	持続可能な地域づくりに関する課題解決の取組の理解を基に、地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、生活圏の地理的な課題や課題解決に求められる取組を、多面的・多角的に考察、構想、表現し、よりよい社会の実現を展望することができる。

高次の資質・能力

		知識及び技能		思考力、判断力、表現力等	
		統合的な理解		総合的な発揮	
高等学校	地理探究	A 現代世界の系統地理的考察	(1) 自然環境	地形、気候、生態系などの自然環境に関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係やスケールなどに関わる視点に着目して、地形、気候、生態系などの自然環境に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
			(2) 資源、産業	資源・エネルギー、農業、工業などの資源、産業に関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して、資源・エネルギー、農業、工業などの資源、産業に関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
			(3) 交通・通信、観光	交通・通信網と物流、人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して、交通・通信網と物流、人の移動に関する運輸、観光などに関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
			(4) 人口、都市・村落	人口、都市・村落などに関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して、人口、都市・村落などに関わる諸事象について、空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
			(5) 生活文化、民族・宗教	生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象を対象として、空間的な規則性や傾向性を理解するとともに、関連する地球的課題の現状や要因、解決に向けた取組などについて理解する。	人間生活と自然環境との関係や地域間の結び付きなどに関わる視点に着目して、生活文化、民族・宗教などに関わる諸事象の空間的な規則性、傾向性や、関連する地球的課題の要因や動向などを考察し、表現することができる。
	B 国際理解と国際協力	(1) 現代世界の地誌的考察	世界の諸地域は、目的による様々な指標で地域区分することが可能であることを理解し、地域には多様な側面やスケールがあるという地域の概念や現代世界の多様性を理解する。	位置や分布、地域間の結び付き、スケールなどに関わる視点に着目して、世界や世界の諸地域について、目的による複数の指標に基づいて地域区分された分布図を比較し、区分された地域の共通点や差異、分布から、地域の捉え方を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
		(2) 現代世界の諸地域	地域区分した世界の諸地域を対象として、世界の諸地域の地域的特色や地球的課題、地域間の結び付き、地域の構造や変容を理解する。	地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、現代世界の諸地域について、世界の諸地域や地球的課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。	
	C 現代世界におけるこれからの日本の国土像		(1) 持続可能な国土像の探究	科目のまとめとして、日本の地理的な諸課題の解決の方向性や将来の国土の在り方の構想を通して、持続可能な国土像の在り方を探究する手法の重要性とその手法について理解する。	持続可能な国土像に関する課題解決の取組の理解を基に、地域間の結び付きやスケール、変容などに関わる視点に着目して、これからの日本の国土像について、地理的な課題の解決に向けた取組を考察・構想し、よりよい社会の実現を展望することができる。

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	歴史総合	A歴史の扉	(1) 歴史と私たち	現在に生きる私たちに関わる諸事象と日本や世界の歴史とのつながりを理解するとともに、過去の事象について探る手がかりとなる材料である資料を考察するには、批判的な読み取りと吟味が重要であることを理解する。	諸資料を効果的に活用して、時系列、展開や変化、類似や差異、背景や原因、結果や影響、相互の関連や現在とのつながりなどの視点に着目し、身近な生活や地域にみられる諸事象と歴史とのつながりや資料と歴史の叙述の関わりを考察し、表現することができる。
			(2) 歴史の特質と資料		
	歴史総合	B近代化と私たち	(1) 近代化への問い	資料から収集し読み取った情報を基に、産業社会と国民国家の形成により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近代化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題について多面的・多角的に考察し、表現することができる。
			(2) 結び付く世界と日本の開国		
			(3) 国民国家と明治維新		
			(4) 近代化と現代的な諸課題		
	歴史総合	C国際秩序の変化や大衆化と私たち	(1) 国際秩序の変化や大衆化への問い	資料から収集し読み取った情報を基に、国際的な結び付きの強まりによる国家間の関係性の変化や、個人や集団の社会参加の拡大により生活や社会に生じた変化、それらの変化と現代的な諸課題との関係について理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して国際秩序の変化や大衆化の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察し、表現することができる。
			(2) 第一次世界大戦と大衆社会		
			(3) 経済危機と第二次世界大戦		
			(4) 国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題		
	歴史総合	Dグローバル化と私たち	(1) グローバル化への問い	資料から収集し読み取った情報を基に、科学技術の革新を背景に人・商品・資本・情報等が国境を越えて一層流動するようになったことにより生活や社会に生じた変化について理解するとともに、現代的な諸課題の形成と近現代の歴史とのつながりについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現在とのつながりなどの視点に着目し、現代的な諸課題を歴史的に捉えるための枠組みを活用して近現代の歴史に存在し現代においても調整が求められる課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。
			(2) 冷戦と世界経済		
			(3) 世界秩序の変容と日本		
			(4) 現代的な諸課題の形成と展望		

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力，判断力，表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	日本史探究	A 原始・古代の日本と東アジア	(1) 黎明期の日本列島と歴史的環境	資料から情報を収集し読み取った情報を基に，根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ，環境への適応と文化の形成，列島近隣地域との交流との関係など，各自が形成した観点から古代の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して，時期や年代，展開や変化，共通点や相違点，背景や原因，結果や影響などの視点に着目し，古代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
			(2) 歴史資料と原始・古代の展望		
			(3) 古代の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈，説明，論述)		
	日本史探究	B 中世の日本と世界	(1) 中世への転換と歴史的環境	資料から情報を収集し読み取った情報を基に，根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ，複層的な政治的権力や権威，多様な社会集団の成長とその文化との関わりなど，各自が形成した観点から中世の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して，時期や年代，展開や変化，共通点や相違点，背景や原因，結果や影響などの視点に着目し，中世の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
			(2) 歴史資料と中世の展望		
			(3) 中世の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈，説明，論述)		
	日本史探究	C 近世の日本と世界	(1) 近世への転換と歴史的	資料から情報を収集し読み取った情報を基に，根拠に基づき見いだした歴史の転換や画期を踏まえ，統一的な政治権力や広域の情報・流通のネットワークの形成や継続による社会変化に伴う文化の変容など，各自が形成した観点から近世の政治や社会と文化の特色を理解する。	多様な資料を効果的に活用して，時期や年代，展開や変化，共通点や相違点，背景や原因，結果や影響などの視点に着目し，近世の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。
			(2) 歴史資料と近世の展望		
			(3) 近世の国家・社会の展開と画期(歴史の解釈，説明，論述)		
	日本史探究	D 近現代の地域・日本と世界	(1) 近代への転換と歴史的環境	<ul style="list-style-type: none"> 資料から情報を収集し読み取った情報を基に，近代化，国際秩序の変化や大衆化，グローバル化などの近現代の歴史の変化を踏まえ，地域社会及び日本と世界の関係，現在の社会の構造などとのつながりなど，各自が形成した観点から近現代の政治や社会と文化の特色を理解する。 現代の日本の課題を歴史的な経緯から理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 多様な資料を効果的に活用して，時期や年代，展開や変化，共通点や相違点，背景や原因，結果や影響，現在とのつながりなどの視点に着目し，近現代の政治や社会と文化の特色についての仮説を踏まえた主題を設定して多面的・多角的に考察し，歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現することができる。 事象の意味や意義，関係性などを構造的に整理して，我が国の近現代を通した歴史の画期を見だし，根拠を示して表現することができる。 現代の日本の課題の形成に関わる歴史について考察，構想し表現することができる。
			(2) 歴史資料と近代の展望		
			(3) 近現代の地域・日本と世界の画期と構造		
			(4) 現代の日本の課題の探究		

高次の資質・能力

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
			統合的な理解	総合的な発揮
高等学校 世界史探究	A 世界史へのまなざし	(1) 地球環境から見る人類の歴史	歴史をマクロに捉える見方とミクロに捉える見方があることを理解し、時間と空間のスケールを活用して歴史を考察する方法を理解する。	時期や年代、空間的な広がり、展開や変化などの視点に着目して、地球環境と人類の歴史との関わりや身の回りの諸事象と世界史との関わりを考察し、表現することができる。
		(2) 日常生活から見る世界の歴史		
	B 諸地域の歴史的特質の形成	(1) 諸地域の歴史的特質への問い	資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の歴史的特質への問いに照らして、世界各地に共通性と多様性をもつ諸地域が形成されたことについて理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色などから、文明や諸地域の共通性や多様性について多面的・多角的に考察し、諸地域に形成された歴史的な特質を表現することができる。
		(2) 古代文明の歴史的特質		
		(3) 諸地域の歴史的特質		
	C 諸地域の交流・再編	(1) 諸地域の交流・再編への問い	資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の交流・再編への問いに照らして、諸地域の交流の拡大や新たな地域世界の形成、既存の地域世界の関係の変化について構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、諸地域の交流の広がりや深まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の交流や再編を表現することができる。
		(2) 結び付くユーラシアと諸地域		
		(3) アジア諸地域とヨーロッパの再編		
	D 諸地域の結合・変容	(1) 諸地域の結合・変容への問い	資料から情報を収集し読み取った情報を基に、諸地域の結合・変容への問いに照らして、近代以降に世界の一体化が顕著になったことについて構造的に理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響などに着目し、政治、経済、社会、文化の特色、それ以前との比較などから、地球規模での世界の一体化と相互依存の強まりについて多面的・多角的に考察し、諸地域の結合や変容を表現することができる。
		(2) 世界市場の形成と諸地域の結合		
		(3) 帝国主義とナショナリズムの高揚		
		(4) 第二次世界大戦と諸地域の変容		
	E 地球世界の課題	(1) 国際機構の形成と平和への模索	資料から情報を収集し読み取った情報を基に、多角的な相互依存関係を深める現代世界の特質について理解するとともに、自ら設定した主題を基に時間軸と空間軸のスケールを活用して地球世界の課題を歴史的な経緯から理解する。	諸資料を効果的に活用して、時期や年代、展開や変化、共通点や相違点、背景や原因、結果や影響、現代世界とのつながりなどに着目し、現代世界の特質に関わる具体的に設定した主題から歴史的に形成された地球世界の課題を多面的・多角的に考察したことを基に、よりよい社会の実現に向けた展望を構想し、表現することができる。
		(2) 経済のグローバル化と格差の是正		
		(3) 科学技術の高度化と知識基盤社会		
		(4) 地球世界の課題の探究		

高次の資質・能力

			知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
			統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	公共	(1) 公共的な空間を作る私たち	幸福，人間と社会の多様性と共通性などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，人間がよりよく生きるためには，個人として尊重されるとともに，自立的な主体として公共的な空間に参画する必要があることについて理解した上で，そのために自らの資質・能力を高め，人間として成長することが大切であることを理解する。	公共的な空間と人間との関わり，個人の尊厳と自主・自律，人間と社会の多様性と共通性などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，自らの問題として，社会に参画する自立した主体とは何かということについて考察し，表現する。
		(2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，主体的に社会に参画し，他者と協働する際に選択・判断を行う手掛かりとなる考え方について，人間としての在り方生き方に関連付けて理解する。	現代の倫理的課題について，幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，選択・判断の手掛かりとなる考え方や思考実験などを活用して考察することで，課題の本質を的確に捉えた上で，自らも他者も共に納得できる解決方法を見いだすための糸口などについて考察し，表現する。
		(3) 公共的な空間における基本的原理	幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，個人の尊重と協働の利益の確保などを共に図ることが，公共的な空間を作る目的であることについて理解した上で，それと関連付けて公共的な空間における基本的原理を理解する。	幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，人間が協働する理由，協働関係を妨げる要因について考察した上で，公共的な空間における基本原理が，協働の条件として，あるいは協働関係を妨げる要因を取り除く工夫として，どのような役割を果たすかということについて，具体的な事例を挙げて，考察し，表現する。
	B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち		よりよい社会の形成に参画することに向けて，人間としての在り方生き方に関する理解を深めつつ，幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき，法，政治及び経済などに関わる仕組みの特徴及びそれらが現代の諸課題の解決にどのように役立つかを理解した上で，それらの仕組みの下で活動するために必要な知識を理解する。	自立した主体としてよりよい社会の形成に参画することに向けて，現実社会の諸課題に関わる具体的な主題について，幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目し，選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理などを活用しつつ，関係する者の利害を適切に考慮して，考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現する。
	C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち			地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見だし，幸福，正義，公正などの人間と社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して，関係する者の利害を適切に考慮した上で，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することを通して，私たちがよりよい社会を築いていくために考え続けていく新たな問いを見いだす。

37

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	倫理	A 世界史へのまなざし	(1) 人間としての在り方生き方の自覚	古今東西の先哲の考え方にに基づき、人間としての在り方生き方に関わる概念や理論について理解した上で、人間としての在り方生き方について思索を深めることが大切であることを理解する。	古今東西の先哲の考え方を手掛かりとして、人間としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。
			(2) 国際社会に生きる日本人としての自覚	古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方にに基づき、日本人に見られる人間観、自然観、宗教観などの特質について自己との関わりにおいて理解した上で、国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について思索することが大切であることを理解する。	古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方を手掛かりとして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について多面的・多角的に考察し、表現する。
	倫理	B 現代の諸課題と倫理	(1) 自然や科学技術に関わる諸課題と倫理		他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、自然や科学技術と人間との関わりについての倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。
			(2) 社会と文化に関わる諸課題と倫理		様々な他者との協働、共生に向けて、他者対話しながら、現代の諸課題を探究する活動を通して、社会と文化に関わる倫理的課題を見だし、その解決に向けて倫理に関する概念や理論などを手掛かりとして多面的・多角的に考察し、公正に判断して構想し、自分の考えを説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見いだす。

高次の資質・能力

				知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
				統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	政治・経済	A 現代日本における政治・経済の諸課題	(1) 現代日本の政治・経済	個人の尊厳と基本的人権の尊重などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき、現代日本の政治・経済、その諸課題に関わる概念や理論について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して、政治・経済に関わる基本原理と関連付けて、 ・ 現代日本の政治・経済の仕組みや制度とそれらの課題について、考察し、表現する。 ・ 政治・経済に関わる諸事象に見られる矛盾や対立などを見いだし、その解決に向けて、望ましい現代日本の政治・経済の仕組みや制度の在り方について、考察、構想し、表現する。
			(2) 現代日本における政治・経済の諸課題の探究		合意形成や社会参画に向けて、他者と協働して持続可能な社会を形成するという観点から現代日本社会の課題を見いだし、社会的な視点や方法等を総合的に用いて、関係する者の利害を適切に調整し、その課題の解決の在り方について、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、考察、構想し、自分の考えを広い視野から説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見い出す。
	政治・経済	B 国際社会の諸課題	(1) 現代の国際政治・経済	個人の尊厳と基本的人権の尊重などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに基づき、現代の国際政治・経済、その諸課題に関わる概念や理論について、現実社会の諸事象を通して理解を深める。	個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などの社会の在り方を捉える概念的な枠組みに着目して、政治・経済に関わる基本原理と関連付けて、 ・ 国際政治・経済の仕組みや制度とそれらの課題について、考察し、表現する。 ・ 政治・経済に関わる諸事象に見られる課題などを見いだし、その解決に向けて、望ましい国際政治・経済の仕組みや制度の在り方について、考察、構想し、表現する。
			(2) 国際社会の諸課題の探究		合意形成や社会参画に向けて、他者と協働して持続可能な社会を形成するという観点から国際社会の課題を見いだし、社会的な視点や方法等を総合的に用いて、関係する者の利害を適切に調整し、その課題の解決の在り方について、妥当性や効果、実現可能性などを指標にして、考察、構想し、自分の考えを広い視野から説明、論述することを通して、私たちがよりよい社会を築いていくために探究し続けていく新たな問いを見い出す。

高次の資質・能力

		数と式							
		数・量		式		計算		方程式・不等式	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 数は、量の大きさや順序を表し、大小比較したり、計算したりできることを理解する。 数の範囲を拡張することは、それまでの数と同じ仕組みの表現や計算として扱い、より広範な事象を考察できることを理解する。 量は、ものの大きさを捉え、単位を基に測定して数に表したり、比べたりできることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数を構成する単位や十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の大きさの比べ方や数え方、表し方を考察し、大小比較や計算などに生かす。 量の特徴に着目し、目的に応じて適切な単位や計器を選んで測定し、量の大きさを数に表したり、比べたりする。 	式は、数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表し、数量の関係について説明できることを理解する。	事象における数量の關係に着目し、式の表し方について考察し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	計算は、数を構成する単位や十進位取り記数法、計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって数量を正しく処理できることを理解する。	数を構成する単位や十進位取り記数法、計算に関して成り立つ性質に着目し、計算の仕方について考察し、問題の解決に生かす。		
中学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 数は、量の大きさ、順序を表し、大小比較したり、計算したりできることを理解する。 数の範囲を拡張することは、それまでの数と同じ仕組みの表現や計算として扱えるようにし、より広範な事象を考察できることを理解する。 	数の範囲に着目し、数の表し方や大きさの比べ方を考察し、大小比較や計算などに生かす。	文字や文字式は、数量や数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表し、数量や数量の關係について説明できることを理解する。	事象における数量や数量の關係に着目し、文字式で表し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	方程式は、等しい数量の關係を表し、条件を満たす値を正確に求められることを理解する。	事象における等しい数量の關係に着目し、方程式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	方程式は、等しい数量の關係を表し、条件を満たす値を正確に求められることを理解する。	事象における等しい数量の關係に着目し、方程式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
				式は、数量の関係を簡潔・明瞭かつ一般的に表現し、推測した事柄が常に成り立つことを説明できることを理解する。	事象における数量の關係に着目し、式で表し、計算して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	不等式は、数量の大小關係についての条件を表し、その条件を満たす値の範囲を求めることを理解する。	事象における数量の大小關係に着目し、不等式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	不等式は、数量の大小關係についての条件を表し、その条件を満たす値の範囲を求めることを理解する。	事象における数量の大小關係に着目し、不等式で表し、変形して結果を得るとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高次の資質・能力

図形

図形の性質

図形の計量

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

小学校

図形の性質は、図形を構成する要素や位置関係、図形間の関係に成り立つ関係や特徴であり、図形を分類したり、構成したりできることを理解する。

図形を構成する要素、位置関係、図形間の関係に着目し、図形の構成の仕方や性質を考察し、それらを他の図形に広げたり、図形の計量に生かしたりする。

図形の計量は、図形を角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱えることを理解する。

- ・ 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
- ・ 事象を考察した過程や結果を基に一般化し、公式を導く。

中学校

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

図形の性質は、図形を構成する要素や位置関係、図形間に成り立つ関係や特徴であり、図形を分類したり、構成したりできることを理解する。

図形を構成する要素、位置関係、図形間の関係に着目し、図形の構成の仕方や性質を考察し、それらを他の図形に広げたり、図形の計量に生かしたりする。

図形の計量は、図形を長さや角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、直接測れない長さや角度を求めたり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱ったりできることを理解する。

- ・ 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、定理や公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
- ・ 事象を考察した過程や結果を基に一般化し、定理や公式を導く。

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

高等学校

数学Ⅰ

図形の計量は、図形を長さや角度、面積、体積などの数値として捉えることであり、直接測れない長さや角度を効率的に求めたり、平面や空間における様々な問題を数量的に扱ったりできることを理解する。

- ・ 事象における形・大きさ・位置関係などに着目し、定理や公式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。
- ・ 事象を考察した過程や結果を基に拡張・一般化し、定理や公式を導く。

高次の資質・能力

変化と関係

割合と比

関数

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

知識及び技能

思考力、判断力、表現力等

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

小学校

単位量あたりの大きさや割合、比は、二つの数量の関係を表し、二つの数量の関係を基に比べ、判断できることを理解する。

日常生活や社会の事象などについて、二つの数量の関係に着目し、比べ方を考察し、判断に生かす。

伴って変わる二つの数量は、数量の変化と対応の関係によって特徴づけられ、事象の変化を把握したり予測したりして、判断できることを理解する。

日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

中学校

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

関数は、一方の値を決めると他方の値がただ一つに決まる対応として数量間の関係を扱い、事象の変化を把握したり予測したりして判断できることを理解する。

日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

統合的な理解

総合的な発揮

統合的な理解

総合的な発揮

- 関数は、一方の値を決めると他方の値がただ一つに決まる対応関係として数量間の関係を扱い、事象の変化を把握したり予測したりして判断できることを理解する。
- 関数のグラフは、方程式や不等式の解を、軸や他のグラフとの位置関係として視覚的に捉えられることを理解する。

日常生活や社会の事象などについて、伴って変わる二つの数量の関係に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高等学校

数学Ⅰ

高次の資質・能力

		データと確からしさ					
		場合の数と確率		記述統計		推測統計	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
小学校		場合の数は、漏れや重複がないように効率よく数え上げた起こり得る場合の総数を表し、複雑な事象を構造的に整理できることを理解する。	事象の特徴に着目し、順序よく整理する観点を決めて、漏れや重複なく調べる方法を考察し、起こり得る場合を整理する。	データは、身の回りの事象を数量的に捉え、目的に応じて表やグラフなどを用いて表すことにより、データに依拠した根拠に基づいて判断したり、主張したりできることを理解する。	事象におけるデータの特徴や傾向に着目し、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりして分析し、データに基づいた判断や主張をする。		
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
中学校		確率は、ある事象の起こりやすさを数値で表し、不確定な事象を予測したり、判断したりできることを理解する。	事象の起こりやすさに着目し、数値で表して把握することにより、未知の状況について予測したり判断したりする。	データの分布は、値の集まり方や散らばり具合の様子を表し、データに依拠した根拠に基づいて判断したり、主張したりできることを理解する。	事象におけるデータの分布に着目し、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりして分析し、データに基づいた判断や主張をする。	標本調査は、無作為に抽出した標本から母集団の傾向を調べ、一部のデータに基づいて全体の傾向を推測できることを理解する。	事象における母集団と標本の関係に着目し、母集団の傾向を推測して判断したり、調査の方法や結果の妥当性について考察したりする。
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
高等学校	数学Ⅰ			<ul style="list-style-type: none"> データの分布は、値の集まり方や散らばり具合の様子を表し、データに依拠した根拠に基づいて判断したり、主張したりできることを理解する。 データの相関は、二つの変量の間の直線的な関係の向きや強さを表し、二つの変量の間の関係性について判断できることを理解する。 	事象におけるデータの分布や二つの変量の関係などに着目し、目的に応じて複数の種類のデータを収集したり適切な手法を選択したりして分析して、データに基づいた判断や主張をする。	仮説検定は、ある仮定のもとで、観測された値及びそれ以上に極端な値が得られる確率を求めることにより、データとその仮定の矛盾の程度を評価できることを理解する。	事象における不確実性に着目し、データと仮定の矛盾の程度を評価するとともに、調査の前提や評価の限界を踏まえて主張の妥当性を考察する。
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮

高次の資質・能力

		論証	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮
中学校		統合的な理解	総合的な発揮
		証明は、既に正しいと認められた事柄を基にして、論理的に結論を導くことであり、性質が常に成り立つことを説明できることを理解する。	事象から性質などを推測したり、推測された性質などを証明したりするとともに、その仮定や結論を振り返って新たな性質を推測し、元の事象と関連付けて考察する。
高等学校	数学Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 集合は、ある条件を満たす対象を一つのまとまりとして扱い、集合間の関係を論理的に考察できることを理解する。 命題は、証明する対象を真偽の定まる文や式として表し、仮定と結論の関係を明示的に取り扱えることを理解する。 証明は、対象とする集合を明確にして、既に正しいと認められた事柄を基にして論理的に結論を導くことであり、その集合において命題が真であることを説明できることを理解する。 	事象から性質などを推測し、命題として表し、その真偽について証明するとともに、その過程や結論を振り返って新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察する。

高次の資質・能力

		社会を読み解く数学	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮
中学校		統合的な理解	総合的な発揮
高等学校		統合的な理解	総合的な発揮
	数学Ⅰ	<p>数理モデルは、日常生活や社会の事象を条件や仮定に基づいて数式などで表し、そのモデルを用いることにより、事象の仕組みを説明したり結果を予測したり、よりよい判断や意思決定を検討したりできることを理解する。</p>	<p>日常生活や社会の事象における数学的な構造に着目し、数学の問題として表して解決するとともに、得られた結果を意味づけたり活用したりする。</p>

高次の資質・能力

		数と式		図形と方程式		変化と関係					
		式		図形と方程式		指数関数・対数関数		三角関数		微分法・積分法	
		知識 及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識 及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識 及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識 及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識 及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等
高等学校	数学Ⅱ	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		式の計算は、既習の四則計算や計算に関して成り立つ性質に基づいており、一定の手順にしたがって目的に応じた形に整理できることを理解する。	計算に関して成り立つ性質に着目し、式の計算の仕方について考察し、その計算を問題の解決に生かす。	図形を座標と方程式によって表すことは、図形と式とを対応させて扱い、式の計算によって図形的位置関係や性質を調べられることを理解する。	<ul style="list-style-type: none">事象における図形と式の関係に着目し、式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。図形的位置関係や性質について、式を用いて証明する。	<ul style="list-style-type: none">指数関数は、一定の倍率で変化する関係を表し、急激に増減する事象の変化について予測したり、判断したりできることを理解する。対数関数は、ある数とそれに対応する底の指数の関係を表し、積や累乗の計算、急激な増減などを扱いやすくなることを理解する。	事象における一定の倍率で増減する量や桁の大きさの違いに着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	三角関数は、角度とそれに対応する数値の関係を表し、周期的な事象の変化について予測したり、判断したりできることを理解する。	事象における周期性に着目し、表、式、グラフを活用して処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。	<ul style="list-style-type: none">微分は、関数の各値における局所的な変化率を表す関数を求めることであり、それは関数の変化の様子を明らかにできることを理解する。積分は、微分して与えられた関数になるような関数を求めることであり、関数のグラフが形作る面積を求められることを理解する。	事象における局所的な変化に着目し、関数を用いて問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高次の資質・能力

		変化と関係					
		極限		微分法		積分法	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校	数学Ⅲ	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 極限は、数列や関数の値がある値に限りなく近づいていく状態であり、連続的な変化や無限に続く過程を扱えることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 数列や関数の値の極限に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけた活用したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分法は、いろいろな関数を局所的に一次関数で近似して捉える方法であり、複雑な変化の様子を明らかにできることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の局所的な変化に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 	<ul style="list-style-type: none"> 積分法は、連続的に変化する量を微小な変化量の和の極限として扱い、その値を微分との関係に基づいて計算する方法であり、面積・体積や変化する量の総和などを求められることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 微分と積分との関係に着目し、問題を解決し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高次の資質・能力

		データと確からしさ				数と式	
		場合の数と確率		推測統計		行列	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校	新科目	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 場合の数は、漏れや重複がないように効率よく数え上げた起こり得る場合の総数を表し、複雑な事象を構造的に整理できることを理解する。 確率は、ある事象の起こりやすさを数値で表し、不確定な事象について予測したり、判断したりできることを理解する。 	事象の構造や起こりやすさに着目し、起こり得る場合の数を整理して数え上げ、その起こりやすさを数値で表して把握することにより、未知の状況について予測したり判断したりする。	統計的な推測は、標本から母集団について推測するときの不確かさを確率で捉え、母集団の傾向について考察できることを理解する。	事象における母集団と標本の関係に着目し、調査の前提や方法の限界を踏まえて、母集団の傾向を推測したり、調査結果の妥当性について考察したりする。	行列は、多くの数を長方形に並べて扱い、関係を表したり、データを変換したり、一括的に処理したりできることを理解する。	事象における多次元の数量やそれらの関係に着目し、一括的に処理して得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高次の資質・能力

高等学校	新科目	変化と関係		図形			
		数列		幾何ベクトル		平面上の曲線と複素数平面	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 数列は、自然数を定義域とする関数や項どうしの関係により定まる数の並びを表し、局所的な変化から大域的な変化を捉えられることを理解する。 数学的帰納法は、自然数に関する命題について、全ての自然数について成り立つと結論づける証明方法であることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> 事象における離散的な変化や再帰関係に着目し、式を用いて処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 事象から性質などを推測し、命題として表し、その真偽について証明するとともに、その過程や結論を振り返って新たな性質などを推測し、元の事象と関連付けて考察する。 	幾何ベクトルは、方向と大きさを持つ量を図的に表し、平面や空間における図形の位置や方向、長さや角度の関係を統一的に扱えることを理解する。	<ul style="list-style-type: none"> 事象における方向と大きさに着目し、式を用いて表現するとともに処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。 図形の性質や位置関係について、式を用いて証明する。 	<ul style="list-style-type: none"> 媒介変数表示や極座標は、平面上の点の位置や曲線の表し方の一つであり、直交座標表示では扱いにくい曲線を描いたり、その性質を調べたりできることを理解する。 複素数平面は、複素数を平面上の点に対応させる表し方であり、平面上の回転を計算で処理できることを理解する。 	図形の表し方に着目し、式を用いて表現するとともに処理し、得られた結果を意味づけたり活用したりする。

高次の資質・能力

		作用と変化		保存とエネルギー変換		空間における伝搬	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		力には種類があること、力が働くと運動が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	電流の流れ方には特徴があること、エネルギーは変換できることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	光と音は空間を伝わり、その伝わり方には特徴があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
中学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 力とは物体の運動状態を変化させることを理解する。 電流と磁場には関係があることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 電気回路における電圧、電流及び抵抗の間には規則性があることを理解する。 エネルギーは変換されたり保存されたりすることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	光と音の伝わり方には規則性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
高等学校	物理基礎	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物理基礎	物体に作用する力と物体の運動状態の間には規則性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> エネルギーは変換されたり保存されたりすることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	波は振動の伝搬であることを理解する	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。
高等学校	物理	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物理	<ul style="list-style-type: none"> 力学的な力と電磁気学的な力には共通性があることを理解する。 荷電と電場や磁場との間には、規則性があることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 運動量やエネルギーは保存することを理解する。 直流回路と交流回路には特徴があることを理解する。 質量とエネルギーには等価性があることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 波で生じる現象を理解する。 電子や光は波と粒子の二重性をもつことを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物理現象の特徴を見いだして表現することができる。

高次の資質・能力

	物質の構成		物質の性質		物質の化学変化	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物質が粒子で構成されていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	空気や水、金属の性質には共通点や相違点があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	化学反応によって物質が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	物質を、原子・分子、イオンと関連付けて理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	物質の性質は、原子や分子の状態によって変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	化学反応においては、反応の前後で原子の数が増え減ることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	<ul style="list-style-type: none"> 原子の性質は、原子核を構成する陽子と中性子、電子配置により特徴付けられることを理解する。 物質の量を原子や分子などの個数として捉えることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 物質の性質は、元素の組成や構成原子の電子の状態により特徴付けられることを理解する。 物質の状態は、構成する原子や分子の熱運動と関係があることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 化学反応は、物質の量（原子や分子の数）で捉える必要があることを理解する。 化学反応は、物質間の電子の授受が関係していることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	元素は、電子配置の特徴によって整理できることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 物質の状態とその変化は、分子間力や化学結合、状態間の平衡と関係があることを理解する。 無機物質や有機化合物の性質を理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 物質の化学反応は、エネルギーや化学平衡と関係があることを理解する。 無機物質や有機化合物における反応の特徴を理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、物質の特徴を見いだして表現することができる。

高次の資質・能力

	生物の構造と機能		生命の連続性		生物と環境の関わり	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	生物には基本的な体のつくりと働きがあることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	植物と動物の成長の過程を通して、生命の連続性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物と環境の間には関係性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様であるが、共通点をもつことを理解する。 生物の体のつくりと働きには特徴や関係性があり、これらのつくりと働きによって生命活動が行われていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物の殖え方、遺伝現象、生物の進化には特徴や規則性、関係性があり、生命の連続性があることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 自然界には、生物どうしの関係や生物と環境との間に関係性があることを理解する。 自然界のつり合いが重要であることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	<ul style="list-style-type: none"> 生物は多様でありながら、「細胞が基本的な単位である」、「エネルギーを利用する」という共通性をもっていることを理解する。 ヒトの体は、神経系と内分泌系による調節や免疫の働きなどによって調節され、生命活動が行われていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	生物は多様でありながら、「遺伝物質としてDNAがあり自己複製する」という共通性をもっていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生態系における、生物の多様性及び生物と環境との関係性を理解する。 生態系の保全の重要性について理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
生物	<ul style="list-style-type: none"> 生物の体内には生命を維持するために必要な物質や細胞があり、そこで化学反応が起こることによって生命活動が行われていることを理解する。 生物は環境変化に対して反応したり、行動したりすることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生物の進化は蓄積された遺伝子の変化の結果であることを理解する。 遺伝子の情報が発現することによって細胞や生物が特有の性質をもつことを理解する。 発生は遺伝子発現が関わっていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 生態系における個体群内の関係性と個体群間との関係性を理解する。 生態系における物質生産と物質循環を理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、生物や生物現象の特徴を見いだして表現することができる。

高次の資質・能力

		地球の内部と地表面の変動		地球の大気と水の循環		地球と天体の運動	
		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		流水の働きや火山、地震などによって、地表が変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	天気時間がともに変化することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	太陽や月などの天体があり、それが見える位置は時間とともに移動することを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
中学校		統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 地層から、過去の様子をを知ることができることを理解する。 地球内部の活動に起因する地震や火山活動などが、日本列島に影響を与えていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 霧や雲の発生などの天気の変化が起きる理由を理解する。 日本列島の気象は、周囲の海洋の影響を受けていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	太陽系には地球を含む様々な天体があること、太陽系の天体の動きと地球からの見え方を理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
高等学校	地学基礎	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> プレートの運動によって、地震や火山活動が生じていることを理解する。 古生物の活動と地球環境は相互に影響を及ぼしていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	地球における様々なエネルギーの出入りや移動について、全体としてエネルギーの収支はつりあっていることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 宇宙、太陽系、地球の誕生について理解する。 地球には生命が生まれる条件が備わっていたことを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。
	地学	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
		<ul style="list-style-type: none"> 地球の形状や内部構造は、重力や地震波などによって推測できることを理解する。 地球の歴史を通して、地球内部の活動によって、地表が大きく変化してきたことを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	<ul style="list-style-type: none"> 大気や海洋は層構造をしていることを理解する。 日本や世界の気象は、地形に加え、大気と海洋の大循環や大規模な現象によって影響を受けていることを理解する。 	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。	地球上での視運動から天体運動の規則性を見いだすことができることを理解する。	科学的に探究する学習活動を通して、地球や地球を取り巻く環境の特徴を見いだして表現することができる。

高次の資質・能力

	体づくり運動系、体づくり運動		器械運動系、器械運動		陸上運動系、陸上競技		水泳運動系、水泳	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	心と体の関係に気付いたり仲間と関わり合ったりすることにより、体を動かす心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	心身の状態等に応じて、運動の行い方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	器具等を使い、回転したり、支持したり、逆位になったり、懸垂したりするなどの動きや技に挑戦し、各自の課題に応じた動きや技ができるようになることにより、楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具等を使う運動について、自己の課題の解決の仕方や技の組み合わせ方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	走ったり、バトンの受け渡しをしたり、リズムカルにハードルを走り越えたり、リズムカルな助走から踏み切って跳んだりして、記録に挑戦したり、相手と競争したりすることにより、一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	走・跳等に関する自己の課題の解決の仕方や競争・記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ	泳ぐ距離や浮いている時間を伸ばしたり、記録を達成したりすることにより、水の中での活動で一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	水の中での活動に関する自己の課題の解決の仕方や記録への挑戦の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して運動に取り組むことができるような行い方を選ぶ
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、体の動きを高めたりすることができることを理解する	心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを工夫する	器具特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じた技ができるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を工夫する	走・跳に関する基本的な動きや効率的な動きで、記録に挑戦したり相手と競争したりすることで、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	走・跳の特性等を踏まえ、自他が陸上運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら基本的な動きや効率的な動きを習得する練習方法や競争の仕方を工夫する	泳法の特性等に応じて、効率的な泳ぎで、続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	泳法の特性等から、自他が水泳運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を工夫する
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	心と体の関係や自身の状況等を踏まえ、仲間と主体的に関わり合ったり、計画的に生活に運動を取り入れたりすることで、体を動かす楽しさや心地よさを味わったり、生涯にわたる健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図ることができることを理解する	心身の状況等から、自他が体を動かす楽しさや心地よさを味わったり体の動きを高めたりするために必要なことを考え、運動を通して仲間と関わる方法や運動の組み合わせを合理的、計画的に工夫する	器具の特性等に応じて、回転したり、支持したり、懸垂したり、バランスをとったりするなどの技に挑戦し、各自の課題に応じて技が滑らかに安定してできるようになることにより、自他が楽しさや喜びを一層味わうことができることを理解する	器具の特性等から、自他が器械運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技を習得する練習方法や演技構成を、合理的、計的に工夫する	泳法の特性等に応じて、効率的でバランスを保った泳ぎで続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	泳法の特性等から、自他が水泳の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	泳法の特性等に応じて、効率的でバランスを保った泳ぎで続けて長く泳いだり、速く泳いだり、競い合ったりすることにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	泳法の特性等から、自他が水泳の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら効率的な動きや長く泳ぐための動きの習得方法を合理的、計画的な解決に向けて工夫する

高次の資質・能力

	ボール運動系、球技		武道		表現運動系、ダンス		体育理論	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボールに関する操作及び仲間と連携したゲームを展開することにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他が運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と伝え合いながらルールや作戦、運動の取り組み方等を工夫する	—	—	自己の心身を解放して、イメージやリズムの世界に没入して踊ることにより、楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	表現やダンスの特性等に応じて、自己の課題の解決の仕方を工夫するとともに、誰もが楽しく安心して表現に取り組むことができるような発表・交流の仕方を工夫する	—	—
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他がボール運動の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を工夫する	攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使うための基本的な技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして簡易な攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や簡易な攻防の展開を工夫する	スポーツの文化としての側面や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	豊かなスポーツライフの実現のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する	スポーツの文化としての側面や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	豊かなスポーツライフの実現のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	ゲームの特性等に応じて、作戦や状況に応じた自身の動きやボール等に関する操作及び仲間と連携した動きで、攻防を展開し、勝敗を競うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	ゲームの特性等から、自他が球技の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら練習方法や作戦、攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	攻防の特性等に応じて、自分の力や相手の力を効率的に使うための意技を仕掛けたり相手の動きを制御したりして攻防を展開し、勝敗を競い合い互いに高め合うことにより、自他が一層楽しさや喜びを味わうことができることを理解する	攻防の特性等から、自他が武道の楽しさや喜びを味わうために必要なことを考え、仲間と協働しながら技の習得方法や攻防の展開を合理的、計画的な解決に向けて工夫する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する	スポーツ文化の創造や合理的な運動実践に必要なこと等、自他の豊かなスポーツライフの実現に関する科学的知識を多角的に身に付けることで、自己の状況等に応じた運動・スポーツとの多様な関わり方について考えを深めることができることを理解する	スポーツ文化の創造や豊かなスポーツライフの継続のために必要なことを考え、自己の状況等に応じたスポーツとの関わり方を工夫する

高次の資質・能力

	健康な生活、健康な生活と現代社会		心の健康、心の健康と対策		けが・傷害の防止、安全な社会生活		病気・疾病の予防、疾病の予防と対策	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	健康の状態には、生活の仕方や生活空間の環境が関わっており、毎日を健康に過ごすためには、生活の仕方や生活環境を整えることが必要であることを理解する	健康な生活の仕方を考え、身近な生活に適用する	心は発達すること、心と体は密接な関係があること等の特徴を踏まえ、不安や悩みに対処すること、心の健康を保つことができることを理解する	心をよりよく発達させたり、不安や悩みに対処する方法を考え、身近な生活に適用する	けがは、人の行動や生活環境が関わって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法について身に付けることで、けがの防止につながることを理解する	危険の予測や回避の方法を考え、身近な生活に適用する	身近な病気の要因を踏まえた予防方法をとることで、その予防につながることを理解する	病気の概念や予防の原則から、病気の予防方法を考え、身近な生活に適用する
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	健康の状態には、個人の生活行動や社会環境が関わっており、人が健康に過ごすためには、生活行動を整えたり、より良い社会環境を目指すことが必要であることを理解する	健康を保持増進する方法を見だし、自他の生活に適用する	精神と身体は互いに影響し合うこと等の特徴を踏まえ、欲求やストレスに適切に対処することで、心の健康を保持増進できることを理解する	精神機能を発達させたり、欲求やストレスへの適切な対処法を考え、自他の生活に適用する	傷害は、人の行動や生活環境及びそれらの相互によって発生していることを踏まえ、要因に対応した防止方法を身に付けることで、傷害の防止につながることを理解する	危険の予測や回避の方法を多面的に考え、自他の生活に適用する	疾病の要因を踏まえた予防方法をとることで、既存の病気に加え、未知の疾病の予防にも活用できることを理解する	疾病概念や予防の原則を拡張し、疾病の予防方法を考え、自他の生活に適用する
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	健康は、個人の生活行動と社会環境等の相互作用の下に成立しており、現代社会における健康課題に対応するためには、こうした相互作用を踏まえた行動選択が必要であることを理解する	健康を保持増進するための個人や社会の取組の意義を見だし、社会生活に適用する	精神疾患の疾病概念やその対処方法など、心の健康を維持したり回復したりするために必要なことを理解する	心の健康を維持・回復するために必要な個人の取組や社会的な対策について考え、社会生活に適用する	事故の要因や予防の考え方について身に付け、社会的な対策を講じることで、安全な社会の形成につながることを理解する	自他や社会の危険の予測を基に、危険を回避する方法を考え、社会生活に適用する	疾病の特徴を踏まえた社会的な対策を講じることで、生涯の各段階の疾病の予防につながることを理解する	疾病の概念や予防の原則を拡張し、疾病の特徴や生涯の各段階に応じた予防や回復の方法、社会的な対策を選択し、社会生活に適用する

高次の資質・能力

	体の発育・発達、身体機能の発達、 生涯を通じる健康		健康と環境、健康を支える環境づくり	
	知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、 表現力等
小学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	思春期の体の変化を踏まえた適切な生活の仕方を身に付けることで、体をよりよく成長させられることを理解する	体をよりよく発育・発達させる方法について考え、身近な生活に適用する		
中学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	身体機能の発達を踏まえた適切な生活行動について身に付けることで、よりよい成長や行動選択ができるようになることを理解する	身体機能の発達や適切な生活行動について考え、自他の生活に適用する	衛生等の環境が、人の健康の保持増進に関連があることを理解する	健康と環境に関わる概念や原則を生活環境から社会に関わる環境まで拡張し、健康を保持増進する方法を考え、自他の生活に適用する
高等学校	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	生涯の各段階の健康課題を踏まえた健康管理や環境づくりを行うことで、生涯を通じた健康の保持増進や回復につながることを理解する	生涯を通じる健康について考え、社会生活に適用する	健康を支える環境づくりが、自他の健康の保持増進に関連があることを理解する	健康と環境に関わる概念や原則を健康を支える環境づくりまで拡張し、全ての人が健康に生きていくための環境について考え、社会生活に適用する

高次の資質・能力

小学校	A 表現	歌唱・ 器楽	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かした表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって歌唱や器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を歌唱や器楽で表現できることを理解している
		音楽つくり	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、発想を得たり思いや意図をもったりし、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	個々の感じ方や考え方等に応じて音の組み合わせやつなげ方などについて捉えながら、即興的に音を出して試したり音楽の仕組みを用いたりすることにより、発想を得たり思いや意図をもったりして音楽をつくって表現できることを理解している
	B 鑑賞		思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲全体を見通しながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	個々の感じ方や考え方等に基づいて音楽の特徴などを捉えることにより、よさなどを見いだすことができることを理解している
中学校	A 表現	歌唱	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かし自分のイメージと関わらせた表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって歌唱による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を歌唱で表現できることを理解している
		器楽	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲の特徴を生かし自分のイメージと関わらせた表現に対する思いや意図をもち、自分や他者にとって器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、思いや意図を器楽で表現できることを理解している
		創作	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、課題や条件に沿って音楽をつくるための思いや意図をもち、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	音や音同士の関係の特徴などを個々の感じ方や考え方等に応じて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて音を選択したり組み合わせたりすることにより、思いや意図を創作で表現できることを理解している
	B 鑑賞		思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、曲や演奏を自分と関わらせながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	音楽の特徴や背景などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えることにより、よさや美しさなどを見いだすことができることを理解している

高次の資質・能力

小学校	A 表現	造形遊び (仮)	思考力、 判断力、 表現力 等	総合的な 発揮	<ul style="list-style-type: none"> 形や色などを基に自分のイメージをもちながら、材料や場所などを基に、豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、材料や用具を使い、活動を工夫してつくることにより、創造的に表現できることを理解している
		絵や立体、 工作 (仮)	思考力、 判断力、 表現力 等	総合的な 発揮	<ul style="list-style-type: none"> 形や色などを基に自分のイメージをもちながら、感じたことや想像したことなどから、豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、材料や用具を使い、表したいことに合わせて表し方を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している
	B 鑑賞		思考力、 判断力、 表現力 等	総合的な 発揮	<ul style="list-style-type: none"> 形や色などを基に自分のイメージをもちながら、作品などの造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げたり深めたりすることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	<ul style="list-style-type: none"> 自分の感覚や行為を通して造形的な特徴などを捉えながら、作品などを工夫して見ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している

高次の資質・能力

中学校	A 表現	自分と美術 (仮)	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	対象や事象を自己との関わりの視点に立って見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生み出し、豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、材料や用具の生かし方などを身に付け、自分との関わりの視点から意図に応じて表現方法を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している
		身近な生活や 社会と美術 (仮)	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	対象や事象を身近な生活や社会的な視点に立って見つめ、目的や条件などを基に主題を生み出し、豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、材料や用具の生かし方などを身に付け、客観的な視点から自分の意図に応じて表現方法を工夫して表すことにより、創造的に表現できることを理解している
	B 鑑賞	自分と美術 (仮)	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	自分との関わりの視点に立って美術作品などを見つめ、造形的なよさや美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、感じ取ったことや考えたことなどを基に表現された美術作品などの情報を読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している
		身近な生活や 社会と美術 (仮)	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	身近な生活や社会的な視点に立って美術作品などを見つめ、目的や機能などとの調和のとれた美しさなどを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び 技能	統合的な 理解	造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、目的や機能などを基に表現された美術作品などの情報を読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している

高次の資質・能力

高等学校	A 表現	歌唱	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	・ 音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、個性を生かした表現に対する表現意図をもち、自分や他者にとって歌唱による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び技能	統合的な 理解	・ 曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、表現意図を歌唱で表現できることを理解している
		器楽	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	・ 音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、個性を生かした表現に対する表現意図をもち、自分や他者にとって器楽による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び技能	統合的な 理解	・ 曲の特徴などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて身体の使い方を調節することにより、表現意図を器楽で表現できることを理解している
	創作		思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	・ 音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、構成を生かした統一感のある音楽をつくるための表現意図をもち、自分や他者にとって創作による表現がもつ意味や価値について考え、音楽表現を深めることができる
			知識及び技能	統合的な 理解	・ 音や音同士の関係の特徴などを個々の感じ方や考え方等に応じて実感を伴って捉えながら、状況や課題に応じて音楽をつくったり変奏や編曲をしたりすることにより、表現意図を創作で表現できることを理解している
	B 鑑賞		思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	・ 音や音楽について知覚し感受したことをよりどころにして思考を巡らせ、音楽を解釈したり曲や演奏を評価したりしながら聴き、自分や他者にとって鑑賞がもつ意味や価値を見だし、音楽を聴き深めることができる
			知識及び技能	統合的な 理解	・ 音楽の特徴や文化的・歴史的背景などを個々の感じ方や考え方等に基づいて実感を伴って捉えることにより、よさや美しさなどを見いだすことができることを理解している

高次の資質・能力

高等学校	A 表現	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	・ 対象や事象を自分との関わりの視点に立って深く見つめ、感じ取ったことや考えたことなどを基に主題を生成し、創造的に発想や構想をすることができる
			知識及び技能	統合的な理解	・ 造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、自分との関わりの視点から意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し主題を追求して表すことにより、創造的に表現できることを理解している
		社会と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	・ 対象や事象を社会的な視点に立って深く見つめ、目的や条件などを基に主題を生成し、創造的に発想や構想をすることができる
			知識及び技能	統合的な理解	・ 造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、客観的な視点から自分の意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を創意工夫し主題を追求して表すことにより、創造的に表現できることを理解している
	B 鑑賞	自分と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	・ 自分との関わりの視点に立って美術作品などを深く見つめ、造形的なよさや美しさなどを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び技能	統合的な理解	・ 造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、感じ取ったことや考えたことなどを基に表現された美術作品などの情報を幅広く読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している
		社会と美術（仮）	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	・ 社会的な視点に立って美術作品などを深く見つめ、目的や機能などとの調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び技能	統合的な理解	・ 造形の要素の働きや全体のイメージ、美術の働きや美術文化について実感を伴って捉えながら、目的や機能などを基に表現された美術作品などの情報を幅広く読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している

高次の資質・能力

高等学校	A 表現	身近な生活と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を身近な生活の視点に立って深く見つめ、自然や素材、自分の思いなどから心豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び技能	統合的な理解	<ul style="list-style-type: none"> 造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、身近な生活の視点に立って、意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法などを吟味し表すことにより、創造的に表現できることを理解している
		社会と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を社会的な視点に立って深く見つめ、使う人や生活環境などから心豊かに発想や構想をすることができる
			知識及び技能	統合的な理解	<ul style="list-style-type: none"> 造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、社会的な視点に立って、意図に応じて材料や用具を生かし、手順や技法などを吟味し表すことにより、創造的に表現できることを理解している
	B 鑑賞	身近な生活と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の視点に立って工芸作品などを深く見つめ、よさや美しさを感じ取り、価値意識をもって作者の心情や意図と制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び技能	統合的な理解	<ul style="list-style-type: none"> 造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、身近な生活の視点に立って表現された工芸作品などの情報を幅広く読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している
		社会と工芸	思考力、判断力、表現力等	総合的な発揮	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な視点に立って工芸作品などを深く見つめ、よさや美しさを感じ取り、作者の心情や意図と制作過程における工夫などについて考え、見方や感じ方を深めることができる
			知識及び技能	統合的な理解	<ul style="list-style-type: none"> 造形の要素の働きや全体のイメージ、工芸の働きや工芸の伝統と文化について実感を伴って捉えながら、社会的な視点に立って表現された工芸作品などの情報を幅広く読み取ることにより、創造的に鑑賞できることを理解している

高次の資質・能力

高等学校	A 表現	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	<ul style="list-style-type: none"> 自分と社会、文字や書の歴史や文化等との関わりから、作品や書の美について深く考えながら、自らの意図に基づいて構想し、その実現のために表現を工夫することができる
		知識及び 技能	統合的な 理解	<ul style="list-style-type: none"> 作品や書の表現や書風における美の構造やその働き、書文化について実感を伴って捉えながら、意図に基づいて書の表現性、表現効果と関わる用筆・運筆などの要素を働かせて表すことにより、創造的、個性的に表現できることを理解している
	B 鑑賞	思考力、 判断力、 表現力等	総合的な 発揮	<ul style="list-style-type: none"> 書かれた言葉、歴史的背景、生活や社会、諸文化等との関わりを通して、作品や書の美、その伝統と文化の意味や価値について深く考え、書のよさや美しさを味わうことができる
		知識及び 技能	統合的な 理解	<ul style="list-style-type: none"> 書の伝統と文化、書の美の多様性と関わらせて、書の美を捉える視点や方法について実感を伴って捉えながら、作品や書から情報を読み取ることにより、作品や書のよさや美しさを豊かに味わうことができることを理解している

高次の資質・能力

	A 家族・家庭生活 (仮称)		B 生活経営・消費生活 (仮称)		C 食生活 (仮称)		D 衣生活 (仮称)		E 住生活 (仮称)	
	知識及び 技能	思考力、判断 力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、判断 力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、判断 力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、判断 力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、判断力、 表現力等
小学校	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮
	自分が家族の一員であることを自覚し、生活の中で自分のできることを考え取り組むことで、家庭生活をよりよくできることについて理解する。	家族の一員として、家族や地域の人々と協力し合う中で自分の生活上の課題を見だし、よりよい生活に向けて工夫することができる。	生活を営む上で必要な資源を効果的に活用することで、自分の生活をよりよくできることについて理解する。	家族の一員として、生活を営む上で必要な資源を効果的に活用しながら、自分の生活上の課題を見だし、よりよい生活に向けて工夫することができる。	栄養バランスを考えた食事を楽しむことで、自分の食生活をよりよくできることについて理解する。	自分の食生活上の課題を見だし、健康でよりよい食生活に向けて工夫することができる。	衣服を手入れしながら着用したり、製作を楽しんだりすることで、自分の衣生活をよりよくできることについて理解する。	自分の衣生活上の課題を見だし、健康・快適でよりよい衣生活に向けて工夫することができる。	季節の変化を感じつつ、日頃から住まいを整えておくことで、自分の住生活をよりよくできることについて理解する。	自分の住生活上の課題を見だし、快適でよりよい住生活を工夫することができる。
中学校	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮	統合的な 理解	総合的な発揮
	自分が家族や地域を支える一員であることを自覚し、生活の中で自分のできることを考え取り組むことで、家庭生活をよりよくできることについて理解する。	家族や地域の人々と協力・協働する中で自分の生活上の課題を見だし、自立に向けてよりよい生活を工夫し、創造することができる。	生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用することで、自分の生活をよりよくできることについて理解する。	生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用しながら、自分の生活上の課題を見だし、自立に向けてよりよい生活を工夫し、創造することができる。	健康で安全な食生活や地域の豊かな食文化の大切さとともに、自分の目的や希望に応じて食生活をよりよくできることについて理解する。	自分の食生活上の課題を見だし、自立に向けて健康・安全で食文化を大切にしたいよりよい食生活を工夫し、創造することができる。	衣服を選択し手入れしながら計画的に着用することや、製作した物が生活に役立つこととともに、自分の衣生活をよりよくできることについて理解する。	自分の衣生活上の課題を見だし、自立に向けて健康・快適でよりよい衣生活を工夫し、創造することができる。	自分や家族が快適・安全に過ごせるよう日頃から住まいを整えておくことで、自分や家族の住生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族の住生活上の課題を見だし、自立に向けて快適・安全でよりよい住生活を工夫し、創造することができる。

高次の資質・能力

		A 家族・家庭生活 (仮称)		B 生活経営・消費生活 (仮称)		C 食生活（仮称）		D 衣生活（仮称）		E 住生活（仮称）	
		知識及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等	知識及び 技能	思考力、 判断力、 表現力等
高等学校	家庭基礎	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮
		自立した生活を営む主体として、様々な人々の生活を理解し、共に協力し合うことで、家庭や地域の生活をよりよくできることについて理解する。	家族や地域の人々と協力・協働する中で家庭や地域及び社会の生活上の課題を見いだし、自立した生活を営む主体として、よりよい生活を創造することができる。	自立した生活を営む主体として、生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用することで、生涯にわたって生活をよりよくできることについて理解する。	生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用しながら、家庭や地域及び社会の生活上の課題を見いだし、適切に意思決定し、自立した生活を営む主体として、よりよい生活を創造することができる。	自立した生活を営む主体として、科学的な根拠を基に、健康で安全な食生活や地域の豊かな食文化の大切さとともに、ライフステージに応じて食生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族及び地域における食生活上の課題を見いだし、自立した生活を営む主体として、生涯にわたって健康・安全で食文化を大切にしたいよりよい食生活を創造することができる。	自立した生活を営む主体として、科学的な根拠を基に、健康・快適・安全な衣生活や日本の衣文化の大切さとともに、ライフステージに応じて衣生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族及び地域における衣生活上の課題を見いだし、自立した生活を営む主体として、生涯にわたって健康・快適・安全で衣文化を大切にしたいよりよい衣生活を創造することができる。	自立した生活を営む主体として科学的な根拠を基に、健康・快適・安全な住生活や日本の住文化の大切さとともに、ライフステージに応じて住生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族及び地域における住生活上の課題を見いだし、自立した生活を営む主体として生涯にわたって健康・快適・安全で住文化を大切にしたいよりよい住生活を創造することができる。
高等学校	家庭総合	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮	統合的な 理解	総合的な 発揮
		家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、様々な人々の生活を理解し、共に協力し合うことで、家庭や地域の生活をよりよくできることについて理解する。	家族や地域の人々と協力・協働する中で家庭や地域及び社会の生活上の課題を見いだし、家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、よりよい生活を創造することができる。	家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用することで、家庭や地域の生活をよりよくできることについて理解する。	生活を営む上で必要な資源を持続的かつ効果的に活用しながら、家庭や地域及び社会の生活上の課題を見いだし、適切に意思決定し、家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、よりよい生活を創造することができる。	家族や地域の食生活を率先して支え、向上させる主体として、健康で安全な食生活や地域の豊かな食文化の大切さとともに、家族や地域の人々のライフステージに応じて食生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族や地域における食生活上の課題を見いだし、家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、食文化を大切にしながら、家族や地域の人々のために健康・安全でよりよい食生活を創造することができる。	家族や地域の衣生活を率先して支え、向上させる主体として、健康・快適・安全な衣生活や日本の衣文化の大切さとともに、家庭や地域の人々のライフステージに応じて衣生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族や地域における衣生活上の課題を見いだし、家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、衣文化を大切にしながら、家族や地域の人々のために健康・快適・安全でよりよい衣生活を創造することができる。	家族や地域の住生活を率先して支え、向上させる主体として、健康・快適・安全な住生活や日本の住文化の大切さとともに家庭や地域の人々のライフステージに応じて住生活をよりよくできることについて理解する。	自分や家族や地域における衣生活上の課題を見いだし、家庭や地域の生活を率先して支え、向上させる主体として、住文化を大切にしながら、家族や地域の人々のために健康・快適・安全でよりよい住生活を創造することができる。

高次の資質・能力

	学校、家庭及び地域の生活に関する内容	身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容	自分自身の生活や成長に関する内容
	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力
小学校	<p>身近な人々、社会及び自然に親しみや愛着をもち、集団や社会の一員として安全で適切な行動することに向かうように、自分と生活とのつながりを繰り返し考え、多くの人々や場所と関わって成り立っていることへの気づきを深めている。</p>	<p>自分たちの生活をよりよくすることに向かうように、自分と生活とのつながりを広げたり深めたりしながら考え、身近な人々、社会及び自然との関わりが自分たちの生活につながっていることへの気づきを深めている。</p>	<p>意欲と自信を高めながら生活することに向かうように、自分の生活を振り返る中で、これまでの出来事や関わりを手掛かりに、自分の成長や身近な人々の支えについて考え、自分のよさや可能性への気づきを深めている。</p>

高次の資質・能力

小学校	情報の領域（仮称）	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	統合的な発揮
	情報技術の正負の側面を含む特性の理解をもとに、情報技術を適切かつ効果的に活用することで、デジタル社会における様々な課題を解決できることを理解する。	情報技術の正負の側面を踏まえ、情報技術を情報の収集、整理・分析、まとめ・表現などに適切かつ効果的に活用して、デジタル社会における身近な課題を解決できる。

高次の資質・能力

	学級活動/ホームルーム活動 (1) 学級や学校における生活 づくりへの参画	学級活動/ホームルーム活動 (2) 日常生活や学習への 適応と自己成長及び健康安全、 (3) 一人一人のキャリア形 成と自己実現	児童会/生徒会活動	学校行事	クラブ活動
	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力
小学校	学級や学校での生活をよりよくするために合意形成を図り、役割を分担しながら協力して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらをよりよく見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	学級での話し合いを生かして現在と将来の自己実現に向けて意思決定して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自己の生活上の課題や興味・関心に目を向け、主体的に行動し現在及び将来の自己の生き方につなげようとする ○ 他者の視点を通じて、自己の価値観や思考を広げようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	異年齢の児童で協力し、学校生活の充実と向上を図るため、計画を立て役割を分担し、協力して取り組むことを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらをよりよく見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	全校又は学年の児童で協力し、学校生活に変化と活力を生み出し、よりよい学校生活に資する体験的な活動を主体的に創造することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他の学校生活の充実と発展に向け、学校行事の意義を踏まえて主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 計画・準備・実践・振り返りの過程における対立や葛藤を乗り越え、多様な個性や価値観を生かしながら、協働して活動を創造しようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	異年齢の児童で協力し、共通の興味・関心を追求する活動を計画し、主体的に運営することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 共通の興味・関心をよりよく追求するため、主体的に役割を見いだし担おうするとともに、自他の個性の伸長を図ろうとする ○ 共通の興味・関心を追求する上での対立や葛藤を乗り越え、多様な個性や価値観を生かしながら協働して活動しようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する
中学校	学級や学校での生活をよりよくするために合意形成を図り、役割を分担しながら協力して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらを不断に見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	学級での話し合いを生かして自己の課題解決したり将来の生き方を描いたりするために意思決定して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 社会との関わりでの自己の生活上の課題や興味・関心に目を向け、主体的に行動し現在及び将来の自己の生き方につなげようとする ○ 他者の視点を通じて、自己の価値観や思考を広げようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	異年齢の生徒で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して学校運営に関わることを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらを不断に見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	全校又は学年の生徒で協力し、学校生活に変化と活力を生み出し、よりよい学校生活に資する体験的な活動を主体的に創造することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他の学校生活の充実と発展に向け、学校行事の意義を踏まえて主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 計画・準備・実践・振り返りの過程における対立や葛藤を乗り越え、多様な個性や価値観を生かしながら、協働して活動を創造しようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	
高等学校	ホームルームや学校での生活をよりよくするために合意形成を図り、役割を分担しながら協力して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらを不断に見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	ホームルームでの話し合いを生かして自己の課題を解決したり将来の生き方を描いたりするために意思決定して実践することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 社会の形成者としての自己の生活上の課題や興味・関心に目を向け、主体的に行動し現在及び将来の自己の在り方生き方につなげようとする ○ 他者の視点を通じて、自己の価値観や思考を広げようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	異年齢の生徒で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して学校運営に関わることを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他のよりよい生活づくりに向け、主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 身近な生活上の課題や地域社会の課題を解決しようとする中で、対立や葛藤を乗り越え納得解や暫定解を形成し、それらを不断に見直そうするとともに、多様な個性や価値観の包摂に主体的に関わる ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	全校又は学年の生徒で協力し、学校生活に変化と活力を生み出し、よりよい学校生活に資する体験的な活動を主体的に創造することを通して、以下の資質・能力を育む。 ○ 自他の学校生活の充実と発展に向け、学校行事の意義を踏まえて主体的に役割を見いだし担おうとする ○ 計画・準備・実践・振り返りの過程における対立や葛藤を乗り越え、多様な個性や価値観を生かしながら、協働して活動を創造しようとする ○ 自他の意見や価値観を捉え直し、自己の思考や感情、行動を調整する	

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
中学校	情報技術（仮称）	統合的な理解 情報技術により情報処理の手順を自動化することで、人の判断や活動を助け、利便性を高められることを理解する。	統合的な発揮 情報技術の正負の側面に配慮しつつ、自動化する情報処理の手順を設計し、人の判断や活動を助ける仕組みを表現、評価・改善できる。
		統合的な理解 情報やデータから新たな関係や意味を批判的に見いだしたり、利用者の立場で情報を吟味し設計したりすることで、分析結果や自分の考えを分かりやすく伝えられることを理解する。	統合的な発揮 情報技術の正負の側面に配慮しつつ、情報やデータの分析結果を批判的に判断し表現したり、利用者にとって分かりやすい情報を吟味・設計し表現、評価・改善したりできる。
		統合的な理解 情報技術や多様な技術が組み合わさり情報システムが構築されることを捉え、情報技術を活用して情報システムを情報の信頼性や社会に与える影響に配慮しながら評価・改善することで、包摂的で豊かな生活や社会につながることを理解する。	統合的な発揮 情報技術の正負の側面に配慮しつつ、情報技術を基盤とする多様な技術を組み合わせ、倫理・法・社会の観点を考慮して問題を解決するための情報システムを構築し表現、評価・改善できる。
	情報を基盤とした生産技術（仮称）	統合的な理解 材料の加工や構造を工夫することにより、身の回りのものがつくられ、安全で利便性の高い生活につながることを理解する。	統合的な発揮 安全性等に配慮しつつ、材料を選択・設計し、意図した形や構造に加工することで、生活に役立つものを製作し表現できる。
		統合的な理解 生物の育成環境を調整することで、一定の食料の供給や、環境の保全を実現し、安定的な生活を目指せることを理解する。	統合的な発揮 環境負荷等に配慮しつつ、育成環境の調整方法を計画し、収量と品質を高めるための方策を判断し実践できる。
		統合的な理解 エネルギーを変換することで、人の作業を助け、発送電や交通等の生活基盤の利便性につながることを理解する。	統合的な発揮 経済性等に配慮しつつ、エネルギーを変換する仕組みを設計し、安全で安定した動作を製作し表現できる。
		統合的な理解 情報技術を基盤とする多様な技術が組み合わさり構築された仕組みを評価・改善することで、豊かな生活や社会につながることを理解する。	統合的な発揮 安全性や環境負荷、経済性等に配慮しつつ、多様な技術を組み合わせ、問題を解決するための仕組みを探究的に設計し表現できる。

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	
高等学校	情報Ⅰ	統合的な理解	総合的な発揮	
		(１) 情報の仕組みと社会との関わり（仮称）	情報技術の仕組みや社会との関係を全体的に捉えることで、安全や社会的責任に配慮して情報を活用できることを理解する。	生活や社会を支える情報技術の正負の側面に配慮し、社会的責任を考慮して情報を活用できる。
		統合的な理解	総合的な発揮	
		(２) 情報デザインとデザイン思考（仮称）	情報の受け手の視点に立ち、情報を吟味し、分かりやすく情報を表現することが、受け手の円滑な理解や行動を促すことを理解する。	情報技術の正負の側面に配慮しつつ、情報の受け手にとって適切な理解や行動を促す情報を吟味・設計・表現し、評価・改善できる。
		統合的な理解	総合的な発揮	
	(３) データ分析とモデル化・シミュレーション（仮称）	データを整理・分析して批判的に関係を見いだしたり、事柄の特徴を抽出して単純化したりすることが、未知の傾向や結果の予測につながることを理解する。	情報技術の正負の側面に配慮しつつ、データから見いだした関係や単純化した事柄から傾向や結果を予測し、批判的に判断・表現できる。	
	情報Ⅱ	統合的な理解	総合的な発揮	
		(４) アルゴリズムとシステム開発（仮称）	情報システムの構成を捉え、手順や条件に分解することで、その妥当性や改善可能性を判断できることを理解する。	情報技術の正負の側面に配慮しつつ、情報システムを手順や条件に分解して表現し、評価・改善できる。
		統合的な理解	総合的な発揮	
		(５) 情報及び情報技術を活用した課題探究（仮称）	一定の制約の下でプロジェクトを管理・進行して評価・改善し、目的を達成するプロセスを、情報技術の活用により探究的に試行することで、実社会における課題解決や価値創造できることを理解する。	プロジェクトを管理・進行して評価・改善し、目的を達成するプロセスを、情報技術の活用により探究的に試行することを通して実社会の課題の解決や価値を創造する方策を考察し表現できる。
統合的な理解		総合的な発揮		

高次の資質・能力

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
高等学校	情報Ⅱ	統合的な理解	総合的な発揮
		(1) 社会課題とデータサイエンス (仮称)	多様なデータを整理・分析して得られる新しい傾向や予測を批判的に考察し、社会的責任に配慮した課題解決の方策を見いだせることを理解する。
	(2) コンテンツデザイン (仮称)	統合的な理解	総合的な発揮
		情報を吟味・設計・表現し、評価・改善を繰り返すことで、情報の受け手により良い価値を提供できることを理解する。	情報技術の正負の側面に配慮しつつ、情報の受け手にとって最適な理解や行動を促す価値ある作品を設計・表現し、評価・改善を繰り返すことができる。
	(3) AI (仮称)	統合的な理解	総合的な発揮
		AIの大量の情報を扱う利点と、偏りやバイアスを生む特性を捉えることで、出力を批判的に評価し、倫理・法・社会の観点を考慮しつつ、利点を十分に生かして活用できることを理解する。	AIの利点や負の側面を捉え、出力を批判的に評価し、倫理・法・社会の観点を考慮して適切に活用できる。
	(4) 先端技術と情報システムデザイン (仮称)	統合的な理解	総合的な発揮
		先端技術の、利点の発揮と弊害の抑制のために試作、検証、改善を重ねて実装される特徴を見だし、その効果を批判的に評価しつつ、有効性や限界を判断し、利点を十分に生かして適切に活用できることを理解する。	先端技術を活用した情報システムの効果や働きを、その利点や弊害等に配慮して批判的に評価し、有効性や限界を判断して適切に活用、評価・改善できる。
	(5) 創造的な課題発見・解決の実践 (仮称)	統合的な理解	総合的な発揮
		一定の制約の下でプロジェクトを管理・進行して価値を生み出し、実装後のフィードバックを受けて改善を重ねるプロセスを、情報技術の活用により探究的に実践することで、実社会における課題解決や価値創造できることを理解する。	プロジェクトを管理・進行し、実装後のフィードバックを受けて改善を重ねるプロセスを、情報技術の活用により探究的に実践することを通して、実社会の課題の解決や価値を創造する方策を考察し表現できる。

	学校・家庭での基本的な生活習慣 (仮)	社会での人とのかかわり (仮)	社会や地域でのくらし (仮)	身近な自然やものはたらき (仮)
	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力	高次の資質・能力
小学部	よりよい毎日の生活を送る上で必要となることを考えて行動する中で、健康で規則正しい安全な生活習慣を身に付けることにより、健康で自立した生活を送ることができる。	身近な人や社会と関わる上で必要となることを考えて行動する中で、社会で他者と円滑に関わる力を身に付けることにより、社会的に豊かな生活を送ることができる。	社会や地域で暮らす上で必要となることを考えて行動したり表現したりする中で、きまりを守って社会資源を適切に利用する力を身に付けることにより、秩序を保った共同的な生活を送ることができる。	物事を論理的に考えたり、分かったことを表現したりする中で、関心をもった事象に自ら働きかける力を身に付けることにより、探究的な学びにつながる生活を送ることができる。

中学部・高等部	A 職業生活		B 情報機器・情報技術の活用（仮）		C 産業現場等における実習	
	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮	統合的な理解	総合的な発揮
	働くことの意義や働くために必要な技能についての理解を深め、自己実現を図ったり社会の一員としての役割を果たしたりするために必要な力を身に付けることにより、将来のよりよい職業生活につなげていけることを理解する。	よりよい職業生活を送るために、実際の場面において必要となる事柄を考えるとともに、自分の長所や課題との関係から、工夫したり改善したりすることができる。	情報機器・技術の効果的な活用の仕方や、情報機器・技術の適切な取扱い方を理解することにより、それらを職業生活の充実に結びつける力を身に付けることを理解する。	情報機器・技術の活用を通して情報を集めたり整理したりして、自分の思いや考えを表すことにより、職業生活と結び付けた情報機器・技術の活用についての自分の課題を解決することができる。	実践的な知識や技能に触れることを通して学習したことを、自分の希望する職業や進路と関係付ける力を身に付けることにより、自分の将来の職業や進路につなげていけることを理解する。	働く人と直接関わった経験を通して、自分の成長や自己の進路について考えたり、考えを表したりする力を身に付けることにより、自分の進路についての課題を解決することができる。

		知識及び技能	思考力、判断力、表現力等
		統合的な理解	総合的な発揮
原則履修科目（基礎科目）	（１）各産業の社会的な意義や役割	我が国において各産業が果たしてきた意義や役割、その技術を学習することで、当該産業を継承・発展・創造していくことが、私たちの暮らしをよりよくすることにつながることを理解する。	これからの我が国の各産業の在り方に関する課題を発見し、それらを取り巻く諸問題や今後の可能性について、科学的な根拠に基づき、合理的かつ創造的に考察することができる。
	（２）各教科で学習する内容の概括	各産業の各分野に必要な基礎的な知識や技能の習得に取り組むことで、各産業の全体像を把握するとともに、必要となる知識や技能を高め続けていくことが、よりよい課題解決につながることを理解する。	各産業の各分野に関する課題や成果を発見し、それらを科学的な根拠に基づき、合理的かつ創造的に解決、検証することができる。
	（３）教科全体を通じた探究的・実践的な学習	繰り返し課題解決に取り組むことで、未知の課題に直面しても創造的な解決につなげることができることを理解する。	各産業に関する課題や成果を主体的に発見し、科学的な根拠に基づいて探究するとともに、職業人としての倫理観を踏まえ、合理的かつ創造的に解決に向けた選択を行うことができる。